

# お茶の水女子大学学报

平成 11 年 11 月 1 日

お茶の水女子大学庶務課

## 目 次

◇ 学 内 規 則 .....	2
◎お茶の水女子大学ホームページ運営委員会 要項 .....	2
◎お茶の水女子大学附属学校長選考規程の一 部を改正する規程 .....	3
◎お茶の水女子大学電気工作物保安規程 .....	4
◎お茶の水女子大学大学院学則の一部を改正 する学則 .....	9
◎お茶の水女子大学事務改善研究委員会要項 の一部を改正する要項 .....	10
◎お茶の水女子大学組換えDNA実験安全管 理規則の一部を改正する規則 .....	11
◇ 各種委員会委員 .....	19
◇ 人 事 .....	32
◇ 学 事 .....	38
◎平成12年度お茶の水女子大学学生募集要項 ..	38
◎平成12年度お茶の水女子大学私費外国人留 学生（学部留学生）特別選抜学生募集要項 ..	54
◎平成11年9月卒業式及び学位記授与式 .....	60
◇ 諸 報 .....	62
◎研 修 .....	62
◎平成11年度関東・甲信越地区国立学校等係 長研修 .....	64
◎海外渡航 .....	66

◎健康診断 .....	68
◎総合防災訓練 .....	69
◎太陽光発電設備火入れ式 .....	70
◎レクリエーション行事 .....	71
◇ 日 誌 .....	72



# 学 内 規 則

○平成11年お茶の水女子大学規則第29号

お茶の水女子大学ホームページ運営委員会要項を次のように定める。

平成11年9月22日

お茶の水女子大学長 佐 藤 保

お茶の水女子大学ホームページ運営委員会要項

(趣旨)

第1条 この要項は、お茶の水女子大学におけるホームページの作成及びホームページの管理・運用について審議するため、お茶の水女子大学ホームページ運営委員会(以下「委員会」という。)を置き、その組織及び運営について、必要な事項を定める。

(審議事項等)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

- 一 お茶の水女子大学ホームページの基本に関すること。
- 二 その他お茶の水女子大学ホームページに関すること。

(組織)

第3条 委員会は、次に掲げる者をもって組織する。

- 一 各学部から選出された教官各1人
  - 二 大学院人間文化研究科から選出された教官1人
  - 三 ジェンダー研究センター、生活環境研究センター又は保健管理センターから選出された教官1人
  - 四 附属学校園から選出された教官1人
  - 五 事務局、学生部、附属図書館から選出された者各1人
  - 六 情報処理センター運営委員会で選出された者1人
  - 七 その他委員会が必要と認めた者
- 2 前項の各号の委員は、学長が任命する。

(任期)

第4条 前条第1項の委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

2 前項の委員が欠員となった場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第5条 委員会に委員長を置き、第3条第1項の委員のうちから委員の互選によって定める。

2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

3 委員長に事故があるときは、委員長があらかじめ指名した委員がその職務を行う。

(委員以外の出席)

第6条 委員会は、必要と認めたときは、委員以外の者の出席を求め、その説明又は意見を聴くことができる。

(事務)

第7条 委員会の事務は、庶務課において処理する。

(雑則)

第8条 この要項に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が定める。

附 則

この要項は、平成11年9月22日から施行する。

○平成11年お茶の水女子大学規則第30号

お茶の水女子大学附属学校長選考規程の一部を改正する規程を次のように定める。

平成11年9月22日

お茶の水女子大学長 佐藤 保

お茶の水女子大学附属学校長選考規程の一部を改正する規程

お茶の水女子大学附属学校長選考規程（昭和33年1月10日制定）の一部を次のように改正する。

第5条第1項第5号を第7号とし、第4号を第6号とし、第3号を第4号とし、第2号の次に次の1号を加える。

三 大学院人間文化研究科長

同条第1項第4号の次に次の1号を加える。

五 大学院人間文化研究科から選出された教授1人

第5条第2項中「第3号及び第5号」を「第4号及び第5号並びに第7号」に改める。

附 則

この規程は、平成11年9月22日から施行する。

○平成11年お茶の水女子大学規則第31号

お茶の水女子大学電気工作物保安規程を次のように定める。

平成11年9月22日

お茶の水女子大学長 佐藤 保

お茶の水女子大学電気工作物保安規程

## 第1章 総則

(目的)

第1条 お茶の水女子大学(以下「本学」という。)における電気工作物の工事、維持及び運用に関する保安を確保するため、電気事業法(昭和39年法律第170号。以下「法」という。)第42条第1項の規定に基づき、この規程を定める。

(他の法令との関係)

第2条 本学の電気工作物の保安に関しては、消防法(昭和23年法律第186号)、建築基準法(昭和25年法律第201号)及びその他の法令又はこれに基づく特別の定めのある場合を除くほか、この規程の定めるところによる。

(法令及び規程の遵守)

第3条 本学の電気設備を使用する者(以下「従事者」という。)は、電気関係法令及びこの規程を遵守するものとする。

(細則の制定)

第4条 この規程を実施するために必要と認められる場合は、別に細則を定めるものとする。

(規程等の改正)

第5条 この規程の改正又は前条に定める細則の制定若しくは改正にあたっては、電気主任技術者の参画のもとに立案し、これを決定するものとする。

## 第2章 保安業務の運営管理体制

(電気主任技術者)

第6条 本学の電気施設工事、維持及び運用に関する保安の監督をさせるため、電気主任技術者の資格を有する本学職員のうちから学長が命ずる電気主任技術者を置く。ただし、次の各号に掲げる地区等に資格を有する適当な職員がいない場合については、本学職員以外の者で昭和63年通商産業省告示第191号第1項に定められた要件を満たしている者又は同告示第2条に定められた法人に保守業務を委託することができるものとする。

- 一 国際学生宿舎内(東京都板橋区仲町2-1)
- 二 小石川寮内(東京都文京区大塚1-6-6)
- 三 理学部附属臨海実験所及び館山野外教育施設内(千葉県館山市香字長通11)

(保安業務組織)

第7条 電気工作物の工事、維持及び運用に関する保安業務を執行する組織構成は、次に定めるところによるものとする。

- 一 事務局長(以下「総括管理者」という。)は、保安業務を総括管理する。

- 二 施設課長（以下「監理者」という。）は、総括管理者を補佐し電気主任技術者の意見を聞き、電気工作物の工事、維持及び運用にあたる。
- 三 電気主任技術者は、法令及びこの規程に基づく業務を遂行するものとし、電気工事の検査、監督及び電力の使用状況等の確認を行う。
- 四 保安業務を円滑に遂行するための指揮命令系統及び連絡系統は別表第1のとおりとする。

（電気工作物の設置者の業務）

第8条 電気工作物に関し、保安上重要な事項を決定又は実施しようとするときは、電気主任技術者の意見を求めるものとする。

- 2 電気主任技術者が電気工作物の保安に関して述べた意見は、尊重するものとする。
- 3 法令に基づいて所管官庁に提出する書類の内容が電気工作物の保安に関係のある場合は、電気主任技術者の参画のもとにこれを立案し、決定するものとする。

（電気主任技術者の業務）

第9条 電気主任技術者は、監理者の指示により電気工作物の工事、維持及び運用に関する保安の監督の職務を誠実に行わなければならない。

（従事者の業務）

第10条 電気工作物の工事、維持又は運用に関し、その作業に従事する者は、電気主任技術者がその保安のためにする指示に従わなければならない。

（電気主任技術者不在時の措置）

第11条 電気主任技術者が病気その他やむを得ない事情により不在となる場合にその業務の代行を行う者（以下「代務者」という。）は、監理者があらかじめ指名するものとする。

- 2 代務者は、電気主任技術者の不在時には、電気主任技術者に代わり、その職務を誠実に行わなければならない。

（電気主任技術者の解任）

第12条 電気主任技術者が次の各号に該当する場合は、解任することができるものとする。

- 一 電気主任技術者が病気等により欠勤が長期にわたり、保安の確保が不相当と認められたとき
- 二 電気主任技術者が法令若しくはこの規程の定めるところに違反し、又は怠って保安の確保上不相当と認められたとき

### 第3章 保安教育

（保安教育）

第13条 電気主任技術者は、電気工作物の工事、維持又は運用に従事する者に対し電気工作物の保安に関し、必要な知識及び技能の教育を計画的に行わなければならない。

（保安訓練）

第14条 電気主任技術者は、電気工作物の工事、維持又は運用に従事する者に対し、事故その他非常災害が発生したときの措置について、必要に応じ実地指導訓練を行うものとする。

## 第4章 工事の計画及び実施

### (工事計画)

- 第15条 電気工作物の設置、改造等の工事計画を立案するにあたっては、電気主任技術者の意見を求めるものとする。
- 2 電気主任技術者は、電気工作物の安全な運用を確保するため、電気工作物の主要な修繕工事及び改良工事（以下「**保修工事**」という。）の計画を立案し、監理者の承認を求めなければならない。

### (工事の実施)

- 第16条 電気工作物に関する工事の実施にあたっては、電気主任技術者の監督のもとにこれを実施するものとする。
- 2 電気工作物に関する工事を他の者に請負わせる場合には、常に責任の所在を明確にし完成した場合は、電気主任技術者においてこれを検査し、保安上支障のないことを確認して引取るものとする。

## 第5章 保守

### (巡視、点検、測定)

- 第17条 電気工作物の保安のための、巡視、点検及び測定は、別に定める基準に従い、計画的に実施するものとする。

- 第18条 巡視、点検、又は測定の結果、法令に定める技術基準に適合しない事項が判明したときは、当該電気工作物の使用を一時停止し、又は制限する等の措置を速やかに講じ、技術基準に適合するよう改善し、維持するものとする。

### (事故の再発防止)

- 第19条 事故その他異常が発生した場合には、必要に応じて臨時に精密検査を行い、その原因を究明し、再発防止に遺漏のないよう措置するものとする。

## 第6章 運転又は操作

### (運転又は操作等)

- 第20条 電気主任技術者は、平常時及び事故その他異常時におけるしゃ断器、開閉器、その他の機器の操作の順序、方法等についてあらかじめ定めなければならない。
- 2 電気主任技術者又は代務者若しくは従事者は、事故その他異常が発生した場合には、あらかじめ定められた事故の軽重の区分に従い、所定の関係先に迅速に報告若しくは連絡し又は当該関係先の指示を受け、適切な応急措置をとらなければならない。
- 3 前項の報告若しくは連絡すべき事項並びに経路は、受電室その他見やすい場所に掲示しておかなければならない。
- 4 受電用しゃ断器の操作にあたっては、必要に応じて東京電力株式会社と連絡して行うものとする。

## 第7章 災害対策

### (防災体制)

- 第21条 非常災害時その他の災害に備えて、電気工作物の保安を確保するために適切な措置をとることができるような体制を整備しておくものとする。

第22条 電気主任技術者は、非常災害発生時において電気工作物に関する保安を確保するための指揮監督を行うものとする。

2 電気主任技術者は、災害等の発生に伴い危険と認められるときは、直ちに送電を停止することができるものとする。

3 代務者は、電気主任技術者の不在時には迅速に電気主任技術者に連絡し、その指示を受けて行うものとする。

## 第8章 記録

第23条 電気工作物の工事、維持及び運用に関する記録は、別に定めるところにより記録し、これを3年間保存しなければならない。

2 主要電気機器の保修記録は、別に定める設備台帳により記録し、必要な期間保存するものとする。

## 第9章 責任の分界

(責任の分界点)

第24条 東京電力株式会社との保安上の責任分界点は、電力供給契約書に基づく責任分界点とする。

(需要設備の構内)

第25条 需要設備は、別に定める構内とする。

(危険の表示)

第26条 受電室その他高圧電気工作物が設置されている場所等であって、危険の恐れのあるところには、人の注意を、喚起するよう表示を設けるものとする。

(測定器具類の整備)

第27条 電気工作物の保安上必要とする測定器具類を整備し、これを適正に保管するものとする。

(設計図書類の整備)

第28条 電気工作物に関する設計図、仕様書、取扱い説明書は、必要な期間保存しなければならない。

(手続き書類の整備)

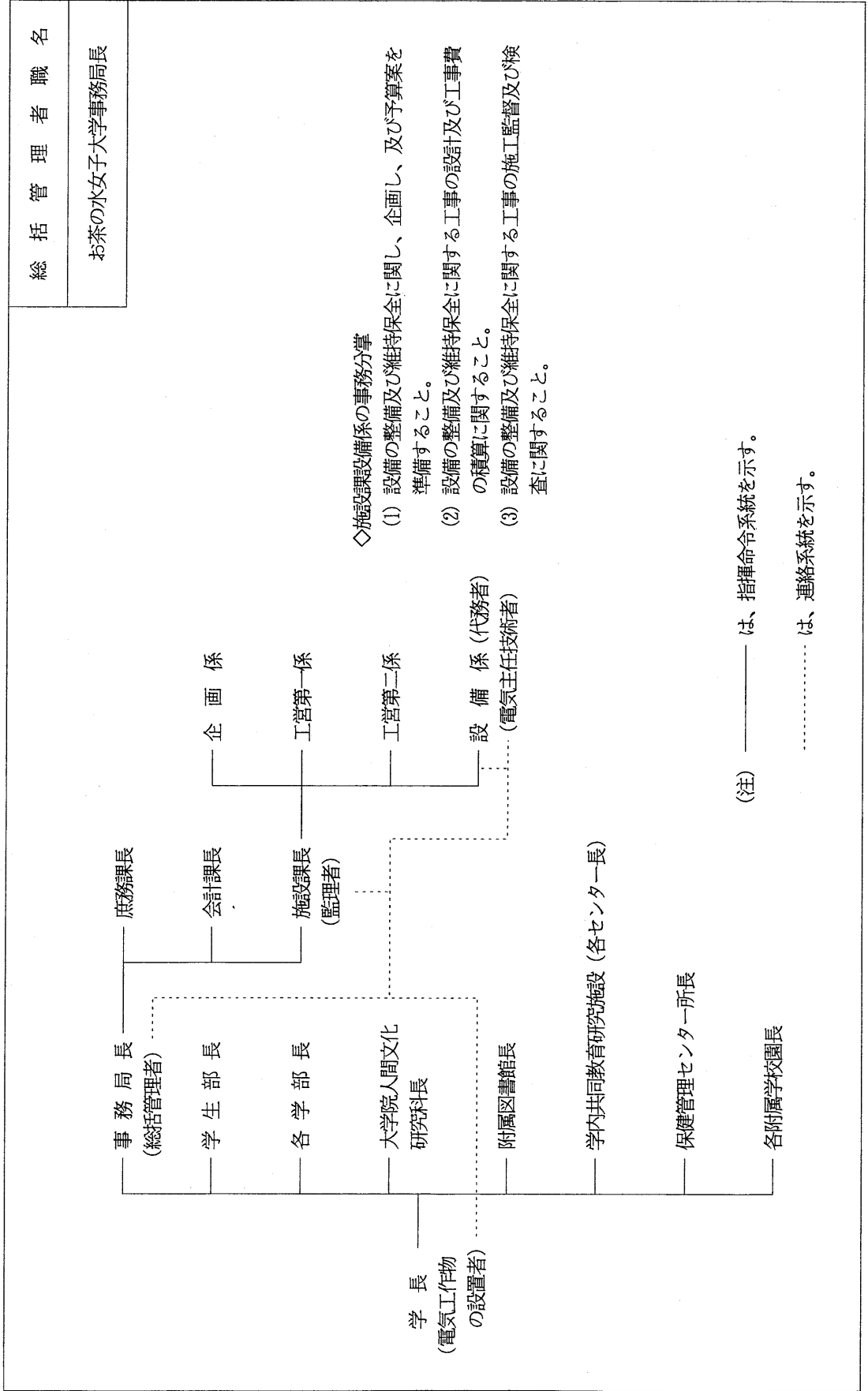
第29条 関係官庁、電気事業者等に提出した書類及び図面その他主要文書については、その写しを必要な期間保存するものとする。

## 附 則

この規程は、平成11年9月22日から施行する。

別表第1 (第7条関係)

指揮命令系統及び連絡系統図





○平成11年お茶の水女子大学規則第32号

お茶の水女子大学大学院学則の一部を改正する学則を次のように定める。

平成11年9月22日

お茶の水女子大学長 佐藤 保

お茶の水女子大学大学院学則の一部を改正する学則

お茶の水女子大学大学院学則（昭和38年4月24日制定）の一部を次のように改正する。

第19条第1項第6号を第7号とし、第5号の次に次の1号を加える。

六 大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達したもの

同条第2項第4号を第5号とし、第3号の次に次の1号を加える。

四 大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同以上の学力があると認められた者で、24歳に達したもの

附 則

この学則は、平成11年9月22日から施行する。

○平成11年お茶の水女子大学規則第33号

お茶の水女子大学事務改善研究委員会要項の一部を改正する要項を次のように定める。

平成11年9月28日

お茶の水女子大学事務局長 橋本幹夫

お茶の水女子大学事務改善研究委員会要項の一部を改正する要項

お茶の水女子大学事務改善研究委員会要項（昭和52年4月13日制定）の一部を次のように改正する。

第2第1項第3号を次のように改める。

三 事務情報化に関する基本計画の立案及び事務情報化の推進に関すること。

第8第1項第4号を次のように改める。

四 事務情報化専門部会

第10の表中、

「

事務電算化専門部会	委員長が委嘱する者	事務電算化関係事項	”
-----------	-----------	-----------	---

（平成9年7月25日改正）」

を、

「

事務情報化専門部会	会計課長、庶務課課長補佐、会計課課長補佐、附属学校部事務室長、入学主幹付専門職員、庶務課庶務係長、庶務課企画法規係長、庶務課大学院係長、会計課総務・管財係長、会計課給与係長、施設課企画係長、学務課教務係長、学生課学生係長、文教育学部総務係長、理学部総務係長、生活科学部総務係長、附属図書館総務係長	事務情報化関係事項	”
-----------	--	-----------	---

（平成11年9月28日改正）」

に改める。

附 則

この要項は平成11年9月28日から施行する。

○平成11年お茶の水女子大学規則第34号

お茶の水女子大学組換えDNA実験安全管理規則の一部を改正する規則を次のように定める。

平11年10月27日

お茶の水女子大学長 佐藤 保

お茶の水女子大学組換えDNA実験安全管理規則の一部を改正する規則

お茶の水女子大学組換えDNA実験安全管理規則（昭和62年11月25日制定）の一部を次のように改正する。

第2条第2項第1号中「及び生活環境研究センターをいう。」を「、大学院人間文化研究科及び生活環境研究センターをいう。」に改める。

第5条第4項第3号中「9」を「11」に改める。

第6条第3項第7号中「10」を「12」に改める。

別表「承認又は届出の対象事項」の項「1 文部大臣承認に係る実験（大臣承認実験）」の欄中、「(6) 動物個体を用いる実験の一部〔指針附属資料第12の1の2の(1)～(6)〕」中、「(1)～(6)」を「(1)～(7)」に改める。

同別表中(9)の欄の次に

(10) 組換えDNA実験に準ずる実験によって作製された動植物個体の系統動植物としての大臣認定を申請する場合 〔指針附属資料第12の1の6〕	○ 組換えDNA実験に準ずる実験によって作製された動植物個体の系統動植物としての認定申請書（別紙様式9） 1部 ○ 系統動植物の利用計画書（別紙様式10） 5部 ○ その他必要に応じ利用計画の内容を説明する資料 5部
---	--

を加える。

別紙様式2中「(印)」を削り、同様式別紙中「7」の括弧書きを削る。

同別紙7-1中、「カ」を「キ」とし、「オ」を「カ」とし、「エ」を「オ」とし、「ウ」の次に次の1号を加える。

エ ヒト以外の動植物個体に別表3-(1)並びに別表4-(1)及び(2)に掲げるものに対するヒトと共通の感染受容性を付与する実験

同別紙7-2「大臣承認実験により作製した動物個体またはその子孫を他の研究者から譲り受ける場合」の次に「(ヒトへの毒性及び腐生性並びに他生物への自立的移行性を持たないDNA分子を導入して作製した動物個体、異種DNA分子を導入

入した動物のうち文部大臣が安定かつ安全な系統動物として認定したものを除く)  
」を加える。

同別紙 8-1 中、「ウ 実験に用いた植物個体の子孫を得て第 1 代と異なる管理  
を行う実験」の次に「(ヒトへの毒性及び腐生性並びに他生物への自立的移行性を  
持たない DNA 分子を導入して作製した植物個体を除く)」を加え、「エ 実験室  
外の特定の区画された区域(培養室、温室、網室、隔離圃場等)において培養する  
実験」の次に「(ヒトへの毒性及び腐生性並びに他生物への自立的移行性を持たな  
い DNA 分子を導入して作製した植物個体、異種 DNA 分子を導入した植物のうち  
文部大臣が安定かつ安全な系統植物として認定したものを除く)」を加える。

同別紙 8-2 中括弧書きを次のように改める。

(ヒトへの毒性及び腐生性並びに他生物への自立的移行性を持たない DNA 分子を  
導入して作製した植物個体、異種 DNA 分子を導入した植物のうち文部大臣が安定  
かつ安全な系統植物として認定したものを除く)

別紙様式 5、別紙様式 7、別紙様式 9、別紙様式 10 中「(印)」を削る。

別紙様式 6、別紙様式 8 中「(職印)」を「(印)」に改める。

別紙様式 9 を別紙様式 11 とし、別紙様式 8 号の次に次の様式を加える。

(別紙様式 9 号，別紙のとおり)

別紙様式 10 を別紙様式 12 とし、別紙様式 9 号の次に次の様式を加える。

(別紙様式 10 号，別紙のとおり)

#### 附 則

この規則は、平成 11 年 10 月 27 日から施行する。

別紙様式9

組換えDNA実験に準ずる実験によって作製された動植物個体の系統動植物としての認定申請書

平成 年 月 日

文 部 大 臣 殿

研究機関	所在地	(〒 )
	名称	
	代表者職・氏名	(印)

組換えDNA実験に準ずる実験により作製した下記の動植物個体について、安定かつ安全な系統動植物としての認定を申請します。

記

No.	申請の対象となる動植物の系統名	実験責任者の所属・職・氏名

系 統 動 植 物 の 利 用 計 画 書

NO.  
(注1)

申 請 者	所属部局の所在地	(〒 )
	所属機関・部局・職	
	氏 名	

系統認定を申請する動植物	系 統 名	(命名規約による登録名: )
	動植物個体の特徴等	
	系統認定の必要性	
	系統認定の対象となる個体または個体群の範囲(注2)	<input type="checkbox"/> 組換えDNA実験に準ずる実験により作製した個体またはそのクローン個体群 <input type="checkbox"/> 組換えDNA実験に準ずる実験により作製した個体またはそのクローン個体群及びその後代雑種 <input type="checkbox"/> 系統育成された組換え個体群(注3) <input type="checkbox"/> 系統育成された組換え個体群及びその後代雑種 <input type="checkbox"/> その他( )
作製した実験(注4)	課 題 名	
	年 月 日	
	承認者(注5)	
	宿主動植物(注6)	
	導入等段階	動物: 卵 胚 胎仔 成体 その他(注7)( ) 植物: 種子 胞子 花粉 培養細胞 組織 器官 個体(in vitroその他)
	異種DNA分子, 組換えDNA分子または組換え体	
	導入方法	

系統認定を申請する動植物	安全性	遺伝的モニタリングによる評価	<p>導入遺伝子の状態（注8）、導入遺伝子の自立的・他立的移行性の有無等</p> <p>導入遺伝子の遺伝様式、遺伝的検査の結果等（注9）</p>
	系統育種及びその遺伝的管理の過程 (注10)		

系統認定を申請する動植物	安定性	導入遺伝子由来する形質 ウイルス粒子の産生の有無及びウイルス粒子の感染性、病原性、毒素産生能、発がん性等 [ ] ヒトと共通の感染受容性の獲得の有無及びその感受対象微生物の病原性、毒素産生能、発がん性等 [ ] 強勢、耐性等の獲得の有無及びその具体的影響 [ ] その他特記事項 [ ]
	後代雑種における形質の影 響及びその影響	
	環境放出された場合の影響	自然交雑の可能性及びその具体的影響 [ ] 野生化または雑草化の可能性及びその具体的影響 [ ] 周辺生物相の変化の可能性及びその具体的影響 [ ] その他特記事項 [ ]



認定された場合の飼育・栽培方法

飼育・栽培の場所

動物：

[ ] 物理的封じ込めのための追加設備を有する飼育室  
(P 2 P 3 P 4 その他 ( ) )

[ ] 逃亡防止設備の整備された一般の飼育室  
[ ] 通常の飼育室  
[ ] 屋外  
[ ] その他 ( )

植物：

[ ] 物理的封じ込めのための追加設備を有する飼育室  
(P 2 P 3 P 4 その他 ( ) )

[ ] 一般の実験室内の閉鎖型培養器  
[ ] 一般の実験室内の開放型栽培器  
[ ] 実験室外の特定の区画された隔離温室、網室、培養増殖室  
[ ] 実験室外の通常の温室またはフェンス等で囲った圃場の隔離された区域  
[ ] 実験室外の通常の圃場であって大学等の管理下にあるもの  
[ ] その他 ( )

個体の管理方法

動物：

「大学等における組換えDNA実験指針」附属資料12-I-3、4の適用(注11)

・ 個体識別または飼育群ごとの管理	[ 3(3) ]	<input type="checkbox"/> 適用	<input type="checkbox"/> 適用除外
・ 第1代と同様による子孫の管理	[ 3(4) ]	<input type="checkbox"/> 適用	<input type="checkbox"/> 適用除外
・ 実験室内への関係者以外の立入の制限	[ 3(5) ]	<input type="checkbox"/> 適用	<input type="checkbox"/> 適用除外
・ 排泄物、飼育水等の消毒又は消却等	[ 3(6) ]	<input type="checkbox"/> 適用	<input type="checkbox"/> 適用除外
・ 消毒又は消却等による個体の処理	[ 3(7) ]	<input type="checkbox"/> 適用	<input type="checkbox"/> 適用除外
・ 異種DNA分子等の記録の作成・保存	[ 3(8) ]	<input type="checkbox"/> 適用	<input type="checkbox"/> 適用除外
・ 標識を付した二重の容器による運搬	[ 3(9) ]	<input type="checkbox"/> 適用	<input type="checkbox"/> 適用除外
・ 供与に際しての機関・大臣承認	[ 4 ]	<input type="checkbox"/> 適用	<input type="checkbox"/> 適用除外

その他特記事項

[ ]

植物：

「大学等における組換えDNA実験指針」附属資料12-II-3～5の適用(注11)

・ 関係者以外の実験室内等への立入の制限	[ 3(1)②、3(2)② ]	<input type="checkbox"/> 適用	<input type="checkbox"/> 適用除外
・ 第1代と同様による子孫の管理	[ 3(1)③、3(2)③ ]	<input type="checkbox"/> 適用	<input type="checkbox"/> 適用除外
・ 消毒又は消却等による植物等の処理など	[ 3(1)④、3(2)④ ]	<input type="checkbox"/> 適用	<input type="checkbox"/> 適用除外
・ 種子等の飛散・伝播の防止措置	[ 3(1)⑥、3(2)⑤～⑦ ]	<input type="checkbox"/> 適用	<input type="checkbox"/> 適用除外
袋掛け等 [ 3(2)⑤ ]		<input type="checkbox"/> 適用	<input type="checkbox"/> 適用除外
昆虫等の防除 [ 3(2)⑥ ]		<input type="checkbox"/> 適用	<input type="checkbox"/> 適用除外
専用実験着の着用など [ 3(2)⑦ ]		<input type="checkbox"/> 適用	<input type="checkbox"/> 適用除外
・ 微生物、動物の同時使用に際する配慮	[ 3(1)⑤、3(2)⑧ ]	<input type="checkbox"/> 適用	<input type="checkbox"/> 適用除外
・ 異種DNA分子等の(明細)記録の作成・保存	[ 3(1)⑦、3(2)⑨ ]	<input type="checkbox"/> 適用	<input type="checkbox"/> 適用除外
・ 組換え体の保管規定に準じた管理	[ 4 ]	<input type="checkbox"/> 適用	<input type="checkbox"/> 適用除外
・ 供与に際しての機関・大臣承認	[ 5 ]	<input type="checkbox"/> 適用	<input type="checkbox"/> 適用除外

その他特記事項

[ ]

- (注1) 申請書の記の系統に付した番号を記入すること。
- (注2) 配偶子、種子等を含む。
- (注3) 組換えDNA実験に準ずる実験により作製した動植物またはその子孫を元祖とし、当該実験により付与された遺伝的形質をいわゆる系統育種的手法により固定化させた個体群であり、当該個体群に属する各個体が遺伝的に均質であるものをいう。  
当該個体群より得られる子孫についても、適切な遺伝的管理において均質性を維持する限りにおいて、これに含める。
- (注4) 必要に応じ、詳細を説明する資料を付すこと。
- (注5) 申請にかかる系統動植物の元祖を作製した実験を承認した学長等。
- (注6) 動物にあつては、系統 (Strain) まで記入すること。系統が明らかでない動物についてはその出所を付記することが望ましい。  
植物にあつては、種子 (Species) まで記入すること。対応する和名があるときは、それを括弧内に付記することが望ましい。
- (注7) 卵母細胞、精子、培養細胞等具体的に記入すること。
- (注8) 相同組換え、非同相組換えの別等を記入すること。
- (注9) 組換えDNA実験に準ずる実験により作製した個体及びそのクローン個体群のみにかかる申請については省略可 (自家受粉可能な植物の場合を除く)。
- (注10) 組換えDNA実験に準ずる実験により作製した個体及びそのクローン個体群のみにかかる申請については省略可。
- (注11) 詳細については、実験指針中の該当規定を参照のこと。

◆各種委員会委員◆

1. ( ) は事務担当課
2. \*は委員長又は議長
3. 任期無記入は官職指定
4. 官職は最新のものを掲載  
(編集上の異動について  
もできる限り補正した)

評議会 (庶務課)

官職等	氏名	任期
学 長	*佐藤 保	9. 2. 16~13. 2. 15
文教育学部 長	上野 浩道	10. 10. 1~12. 9. 30
理学部長	平野 恒夫	10. 4. 1~12. 3. 31
生活科学部 長	板倉 壽郎	10. 10. 1~12. 9. 30
大学院人間文化研究科 長	徳丸 吉彦	9. 4. 1~12. 3. 31
附 属 図書館長	小池 三枝	10. 11. 1~12. 10. 31
附 属 学校部長	石川 宏	11. 4. 1~14. 3. 31
文教育学部 選出評議員	秋山 光文	11. 10. 1~13. 9. 30
	鷹野 光行	11. 10. 1~13. 9. 30
	中村 弓子	11. 10. 1~13. 9. 30
理学部 選出評議員	笠原 勇二	11. 10. 1~13. 9. 30
	菅本 晶夫	11. 10. 1~13. 9. 30
	永野 肇	11. 10. 1~13. 9. 30
生活科学部 選出評議員	富田 守	10. 10. 1~12. 9. 30
	袖井 孝子	10. 10. 1~12. 9. 30
	駒城 素子	10. 10. 1~12. 9. 30
大学院人間文化研究科 選出評議員	天野 正子	11. 4. 1~13. 3. 31
	平野 由紀子	11. 4. 1~13. 3. 31

評議会規則第3条に定める者等

官職等	氏名	任期
学生部長・学長補佐	福田 豊	
学長補佐	大口 勇次郎	
カリキュラム委員会 委員長	竹尾 富貴子	
ジェンダー研究センター長	原 ひろ子	
生活環境研究センター長	倉田 忠男	
事務局長	橋本 幹夫	

基本計画委員会 (庶務課)

官職等	氏名	任期
学 長	*佐藤 保	
文教育学部 長	上野 浩道	
理学部長	平野 恒夫	
生活科学部 長	板倉 壽郎	
大学院人間文化研究科 長	徳丸 吉彦	
附 属 図書館長	小池 三枝	
附 属 学校部長	石川 宏	
学生部長	福田 豊	
事務局長	橋本 幹夫	

自己点検・評価検討委員会 (庶務課)

官職等	氏 名	任 期
学 長	*佐藤 保	
学長補佐	大口 勇次郎	
文教育学部 部 長	上野 浩道	
理学部長	平野 恒夫	
生活科学 部 長	板倉 壽郎	
大学院人間 文化研究科 長	徳丸 吉彦	
文教育学部 選出委員	平野 由紀子	
理学部 選出委員	細矢 治夫	
生活科学部 選出委員	無藤 隆	
大学院人間 文化研究科 選出委員	岡崎 眸 今野 美智子	
ジェンダー 研究センター 長	原 ひろ子	
生活環境 研究センター 長	倉田 忠男	
附 属 図書館長	小池 三枝	
附 属 学校部長	石川 宏	
学生部長	福田 豊	
事務局長	橋本 幹夫	

国際交流委員会 (庶務課)

官職等	氏 名	任 期
学 長	*佐藤 保	
文教育学部 部 長	上野 浩道	
理学部長	平野 恒夫	
生活科学 部 長	板倉 壽郎	
大学院人間 文化研究科 長	徳丸 吉彦	
文教育学部 選出委員	本郷 逕子	11. 4. 1~12. 3.31
理学部 選出委員	藤原 正彦	11. 4. 1~13. 3.31
生活科学部 選出委員	柴坂 寿子	
大学院人間 文化研究科 選出委員	大塚 常樹 室伏 きみ子	
学生部長	福田 豊	
文教育学部 助 教 授	村松 賢一	11. 4. 1~13. 3.31
事務局長	橋本 幹夫	

将来構想検討委員会 (庶務課)

官職等	氏 名	任 期
文教育学部 選出委員	岩崎 千鶴 片岡 康子	10.10. 1~12. 9.30
理学部 選出委員	松本 勲武 永野 肇	
生活科学部 選出委員	會川 義寛 久保田 紀久枝	
大学院人間 文化研究科 選出委員	坂元 章 柴田 文明	
ジェンダー 研究センター 選出委員	館 かおる	10.10. 1~12. 9.30
生活環境 研究センター 選出委員	富永 典子	

発明委員会 (庶務課)

官職等	氏名	任期
文教育学部 部長	上野浩道	
理学部長	平野恒夫	
生活科学部 部長	板倉壽郎	
文教育学部 選出委員	内藤俊史	10.10.1~12.9.30
理学部 選出委員	細矢治夫	11.4.1~12.9.30
	藤代一成	
生活科学部 選出委員	仲西正	10.10.1~12.9.30
	倉田忠男	
大学院人間 文化研究科 選出委員	村田容常	11.4.1~13.3.31

組換えDNA実験安全委員会 (庶務課)

官職等	氏名	任期
研究者	*室伏きみ子	9.12.16~11.12.15
	倉田忠男	
自然科学	根本心一	9.12.16~11.12.15
	村田容常	
人文科学	佐藤光子	11.4.1~11.12.15
社会科学	小谷眞男	
保健管理 センター 長	永川祐三	9.12.16~11.12.15
理学部 事務長	高野佳征	
生活科学部 事務長	西村光範	
安全主任者	馬場昭次	9.12.16~11.12.15

共同研究委員会 (庶務課)

官職等	氏名	任期
学長	*佐藤保	
文教育学部 部長	上野浩道	
理学部長	平野恒夫	
生活科学部 部長	板倉壽郎	
大学院 人間文化 研究科 長	徳丸吉彦	
ジェンダー 研究 センター 長	原ひろ子	
生活環境 研究 センター 長	倉田忠男	
事務局長	橋本幹夫	

大学資料委員会 (庶務課)

官職等	氏名	任期
附属 図書館長	*小池三枝	
文教育学部 選出委員	小風秀雄	10.4.1~12.3.31
理学部 選出委員	竹尾富貴子	
生活科学部 選出委員	吉村佳子	10.11.1~12.3.31
文教育学部 教授	秋山光文	10.4.1~12.3.31
文教育学部 教授	鷹野光行	
ジェンダー 研究セン ター 教授	舘かおる	
大学院 人間文化 助教授	米田俊彦	11.7.13~13.7.12

事務改善研究委員会 (庶務課)

官職等	氏 名	任 期
事務局長	*橋本幹夫	
庶務課長	下田 勝	
会計課長	白井清二	
施設課長	鈴木重之	
学務課長	井深順二	
学生課長	森 廣美	
入学主幹	棚木紀雄	
庶務課 課長補佐	川島清人	
会計課 課長補佐	峯村 薫	
施設課 課長補佐	小永井 耕一	
学務課 課長補佐	中野公敏	
文教育学部 事務長	菊池昭夫	
理学部 事務長	高野佳征	
生活科学部 事務長	西村光範	
附属図書館 事務長	木谷利雄	

レクリエーション運営委員会 (庶務課)

官職等	氏 名	任 期
事務局長	*橋本幹夫	
庶務課長	下田 勝	
会計課長	白井清二	
施設課長	鈴木重之	
学務課長	井深順二	
学生課長	森 廣美	
入学主幹	棚木紀雄	
文教育学部 事務長	菊池昭夫	
理学部 事務長	高野佳征	
生活科学部 事務長	西村光範	
附属図書館 事務長	木谷利雄	
庶務課 課長補佐	川島清人	
会計課 課長補佐	峯村 薫	
施設課 課長補佐	小永井 耕一	
学務課 課長補佐	中野公敏	
研究協力 室 長	古賀 智	
大学院 事務室長	斉藤 実	
附属学校部 事務室長	柿澤秀春	

## ジェンダー研究センター運営委員会 (庶務課)

官職等	氏名	任期
ジェンダー研究センター長	*原 ひろ子	
文教育学部 部長	上野 浩道	
理学部長	平野 恒夫	
生活科学部 部長	板倉 壽郎	
大学院人間文化研究科 長	徳丸 吉彦	
附属 図書館長	小池 三枝	
ジェンダー研究センター 教授	舘 かおる	
ジェンダー研究センター 教授	川嶋 瑤子	
文教育学部 選出委員	天野 正子	10. 4. 1~12. 3.31
理学部 選出委員	松浦 悦子	
生活科学部 選出委員	會川 義寛	10.10. 1~12. 3.31
大学院人間文化研究科 選出委員	羽入 佐和子	11. 4. 1~13. 3.31
事務局長	橋本 幹夫	

## 生活環境研究センター運営委員会 (庶務課)

官職等	氏名	任期
生活環境研究センター長	*倉田 忠男	
文教育学部 部長	上野 浩道	
理学部長	平野 恒夫	
生活科学部 部長	板倉 壽郎	
生活環境研究センター 教授	五十嵐 脩	
生活環境研究センター 助教授	富永 典子	
文教育学部 選出委員	内藤 博夫	11. 4. 1~13. 3.31
理学部 選出委員	松本 勲武	10. 4. 1~12. 3.31
生活科学部 選出委員	會川 義寛 本間 清一	
大学院人間文化研究科 選出委員	馬場 昭次	11. 4. 1~13. 3.31
事務局長	橋本 幹夫	

## 共通機器センター運営委員会 (庶務課)

官職等	氏名	任期
センター長	*益田 祐一	10.12. 1~12.11.30
文教育学部 選出委員	石口 彰 杉谷 隆	10. 4. 1~12. 3.31 11. 4. 1~13. 3.31
理学部 選出委員	小林 哲幸 今井 正幸	10. 4. 1~12. 3.31 11. 4. 1~13. 3.31
生活科学部 選出委員	仲西 正 久保田 紀久枝	10. 4. 1~12. 3.31 11. 4. 1~13. 3.31
大学院人間文化研究科 選出委員	林 正男 村田 容常	11. 4. 1~13. 3.31 10. 4. 1~12. 3.31
生活環境研究センター 選出委員	倉田 忠男	11. 4. 1~13. 3.31

バス・コレクション・システム運営委員会 (庶務課)

官職等	氏 名	任 期
文教育学部 選出委員	石 口 彰 清 水 徹 郎	10. 4. 22~12. 3. 31
理 学 部 選出委員	* 細 矢 治 夫 森 義 仁	
生活科学部 選出委員	會 川 義 寛 杉 田 孝 夫	10. 4. 22~12. 3. 31 10. 10. 1~12. 3. 31
大学院人間 文化研究科 選出委員	坂 元 章 佐 藤 浩 史	10. 4. 22~12. 3. 31
附 属 学 校 選出委員	室 岡 和 彦	
附属中学校 選出委員	松 本 純 一	
庶務課長	下 田 勝	
会計課長	白 井 清 二	
施設課長	鈴 木 重 之	
学務課長	井 深 順 二	

セクシュアル・ハラスメント 防止対策委員会 (庶務課)

官職等	氏 名	任 期
学長補佐	福 田 豊	
事務局長	橋 本 幹 夫	
学長補佐 指名委員	天 野 正 子 石 和 貞 男 戒 能 民 江	
事務局長 指名委員	下 田 勝 森 廣 美	

ホームページ運営委員会 (庶務課)

官職等	氏 名	任 期
文教育学部 選出委員	石 口 彰	11. 11. 1~13. 10. 31
理 学 部 選出委員	森 義 仁	
生活科学部 選出委員	會 川 義 寛	
大学院人間 文化研究科 選出委員	小 川 温 子	
シニア-研究セン ター-生活研究セン ター-保健管理セン ター-選出委員	倉 田 忠 男	
附属学校園 選出委員	加々美 勝 久	
事 務 局 選出委員	下 田 勝	
学 生 部 選出委員	棚 木 紀 雄	
附属図書館 選出委員	木 谷 利 雄	
情報処理セン ター運営委員 会選出委員	粕 川 正 充	



予算委員会 (会計課)

官職等	氏 名	任 期
文教育学部 部 長	上 野 浩 道	
理学部長	平 野 恒 夫	
生活科学 部 長	板 倉 壽 郎	
大 学 院 大 人 間 文 化 研 究 科 長	徳 丸 吉 彦	
文教育学部 選出委員	窪 添 慶 文	11. 4. 1~13. 3. 31
	鷹 野 光 行	10.10. 1~12. 9. 30
理 学 部 選出委員	浜 谷 望	11. 4. 1~13. 3. 31
	石 和 貞 男	10. 4. 1~12. 3. 31
生活科学部 選出委員	駒 城 素 子	10. 4. 1~12. 3. 31
	袖 井 孝 子	11. 4. 1~13. 3. 31
大学院人間 文化研究科 選出委員	小 川 昭 二 郎	11. 4. 1~13. 3. 31
	竹 尾 富 貴 子	11. 4. 1~13. 3. 31
附 属 図 書 館 長	* 小 池 三 枝	
ジェンダー 研 究 セ ン タ ー 長	原 ひろ子	
生 活 環 境 研 究 セ ン タ ー 長	倉 田 忠 男	
事 務 局 長	橋 本 幹 夫	
学 生 部 長	福 田 豊	
会 計 課 長	白 井 清 二	

購入物品機種選定委員会 (会計課)

官職等	氏 名	任 期
文教育学部 選出委員	杉 谷 隆	10. 4. 1~12. 3. 31
	水 野 勲	
理 学 部 選出委員	浜 谷 望	
	永 野 肇	
生活科学部 選出委員	倉 田 忠 男	11. 4. 1~13. 3. 31
	小 川 昭 二 郎	
大学院人間 文化研究科 選出委員	久保田 紀久枝	

防災委員会 (会計課)

官職等	氏 名	任 期
学 長	* 佐 藤 保	
文教育学部 部 長	上 野 浩 道	
理学部長	平 野 恒 夫	
生活科学 部 長	板 倉 壽 郎	
大 学 院 大 人 間 文 化 研 究 科 長	徳 丸 吉 彦	
附 属 図 書 館 長	小 池 三 枝	
附 属 学 校 部 長	石 川 宏	
学 生 部 長	福 田 豊	
保 健 管 理 セ ン タ ー 長	永 川 祐 三	
事 務 局 長	橋 本 幹 夫	
庶 務 課 長	下 田 勝	
会 計 課 長	白 井 清 二	
施 設 課 長	鈴 木 重 之	
学 務 課 長	井 深 順 二	
学 生 課 長	森 廣 美	

施設計画委員会 (施設課)

官職等	氏 名	任 期
学 長	*佐藤 保	
文教育学部 部 長	上野 浩道	
理学部長	平野 恒夫	
生活科学部 部 長	板倉 壽郎	
大学院文化 人間文化 研究科長	徳丸 吉彦	
文教育学部 選出委員	永原 惠三 杉谷 隆	11. 10. 1~13. 9. 30
理学部 選出委員	松本 勲武 石和 貞男	11. 4. 1~13. 3. 31 11. 2. 1~12. 3. 31
生活科学部 選出委員	本間 清一 田中 辰明	10. 11. 1~12. 3. 31 10. 4. 1~12. 3. 31
大学院人間 文化研究科 選出委員	山本 秀行 富永 靖徳	11. 4. 1~13. 3. 31
附 属 図書館長	小池 三枝	
附 属 学校部長	石川 宏	
ジェンダー 研究 センター長	原 ひろ子	
生活環境 研究 センター長	倉田 忠男	
事務局長	橋本 幹夫	
学生部長	福田 豊	
カリキュラ ム委員 会長	竹尾 富貴子	

館山施設計画委員会 (施設課)

官職等	氏 名	任 期
理学部長	*平野 恒夫	
文教育学部 選出委員	本田 郁子 新名 謙二	10. 4. 1~12. 3. 31 11. 10. 1~13. 9. 30
理学部 選出委員	清本 正人	10. 4. 1~12. 3. 31
生活科学部 選出委員	久保田 紀久枝	10. 10. 1~12. 9. 30
理学部附属 臨海実験 所 長	根本 心一	
附 属 小学校教頭	星野 征男	
附 属 中学校教頭	井上 泰次	
附属高等 学校教頭	早崎 捷治	
附 属 幼稚園教頭	梶田 正子	
学生部長	福田 豊	
事務局長	橋本 幹夫	
会計課長	白井 清二	
施設課長	鈴木 重之	

廃水管理委員会 (施設課)

官職等	氏名	任期
生活環境 研究センター 選出委員	*富永典子	11.10. 1~13. 9.30
文教育学部 選出委員	杉谷 隆	
理学部 選出委員	松浦悦子	
	浜谷 望	
	益田祐一	
生活科学部 選出委員	久保田 紀久枝	
	仲西 正	
大学院人間 文化研究科 選出委員	永野 肇	11. 4. 1~13. 3.31
附 高 等 学 校 選 出 委 員	石井朋子	11.10. 1~13. 9.30
附属中学校 選出委員	佐々木 和枝	
会計課長	白井清二	
施設課長	鈴木重之	

カリキュラム委員会 (学務課)

官職等	氏名	任期
文教育学部 選出委員	耳塚寛明	10. 4. 1~12. 3.31
	西澤 奈津子	
	村田真弓	11. 4. 1~13. 3.31
理学部 選出委員	*竹尾 富貴子	10. 4. 1~12. 3.31
	鷹野 景子	11. 4. 1~13. 3.31
	最上 善広	
生活科学部 選出委員	會川 義寛	10. 4. 1~12. 3.31
	久保田 紀久枝	
	黒田 淑子	11. 4. 1~13. 3.31
学生部長	福田 豊	

公開講座委員会 (学務課)

官職等	氏名	任期
文教育学部 選出委員	土屋賢二	9.12. 1~11.11.30
	岩崎千鶴	
	坂本佳鶴恵	10.12. 1~12.11.30
理学部 選出委員	石和貞男	10.12. 1~12.11.30
	*小林功佳	9.12. 1~11.11.30
	鷹野 景子	
生活科学部 選出委員	鈴木 恵美子	10.12. 1~12.11.30
	小谷 眞男	
	伊藤 美奈子	9.12. 1~11.11.30
学生部長	福田 豊	

学芸員課程委員会 (学務課)

官職等	氏名	任期
文教育学部 人間社会 科学教育科 講座	耳塚寛明	
	鷹野光行	
	三輪建二	
文教育学部 選出委員	秋山光文	10.10. 1~12. 9.30
	小風秀雅	
	内田忠賢	
	市古夏生	
理学部 選出委員	山下貴司	
生活科学部 選出委員	吉村佳子	

学生委員会 (学生課)

官職等	氏名	任期
文教育学部 選出委員	平岡公一	10. 4. 1~12. 3.31
	水野 勲	11. 4. 1~13. 3.31
	米田俊彦	
理学部 選出委員	*山田眞二	10. 4. 1~12. 3.31
	森 義仁	11. 4. 1~13. 3.31
	千葉和義	
生活科学部 選出委員	藤原葉子	10. 4. 1~12. 3.31
	小谷 眞男	11. 4. 1~13. 3.31
	永瀬伸子	
学生部長	福田 豊	

共用体育施設等管理運営委員会 (学生課)

官職等	氏名	任期
文教育学部 選出委員	*杉山進	10. 6. 16~12. 6. 15
学生部長	福田豊	
附属 学校部長	石川宏	
会計課長	白井清二	
学生課長	森廣美	

保健管理センター運営委員会 (学生課)

官職等	氏名	任期
保健管理 センター 長	*永川祐三	
文教育学部 選出委員	水村真由美 本田郁子	11. 4. 1~13. 3. 31 10. 4. 1~12. 3. 31
理学部 選出委員	藤枝修子 前田ミチエ	11. 4. 1~13. 3. 31 10. 4. 1~12. 3. 31
生活科学部 選出委員	富田守 楡木満生	11. 4. 1~13. 3. 31 10. 4. 1~12. 3. 31
大学院人間 文化研究科 選出委員	會川義寛	11. 4. 1~13. 3. 31
附属中学校 選出委員	山梨八重子	10. 4. 1~12. 3. 31
学生部長	福田豊	
事務局長	橋本幹夫	

入学試験委員会 (入学主幹室)

官職等	氏名	任期
学長	*佐藤保	
学生部長	福田豊	
文教育学部 部長	上野浩道	
理学部長	平野恒夫	
生活科学部 部長	板倉壽郎	
文教育学部 選出委員	本田郁子 三浦徹	10. 4. 1~12. 3. 31 11. 4. 1~13. 3. 31
理学部 選出委員	藤原正彦 林正男	10. 4. 1~12. 3. 31 11. 4. 1~13. 3. 31
生活科学部 選出委員	杉田孝夫 仲西正	10. 4. 1~12. 3. 31 11. 4. 1~13. 3. 31
事務局長	橋本幹夫	
保健管理 センター 長	永川祐三	
情報処理 センター長	細矢治夫	

入学者選抜方法研究委員会 (入学主幹室)

官職等	氏名	任期
文教育学部 選出委員	新井由紀夫 坂本佳鶴恵	10. 4. 1~12. 3. 31 11. 4. 1~13. 3. 31
理学部 選出委員	藤原正彦 林正男	10. 4. 1~12. 3. 31 11. 4. 1~13. 3. 31
生活科学部 選出委員	杉田孝夫 仲西正	10. 4. 1~12. 3. 31 11. 4. 1~13. 3. 31
学生部長	福田豊	
カリキュラム 委員会 委員長	竹尾富貴子	

理学部附属臨海実験所運営委員会  
(理学部事務部)

官職等	氏名	任期
理学部長	*平野恒夫	
理学部附属臨海実験所長	根本心一	
理学部選出委員	富永靖徳 松本勲武 山下貴司	10. 4. 1~12. 3. 31
理学部附属臨海実験所員	清本正人	
文教育学部選出委員	水野勲 内藤博夫	10. 4. 1~12. 3. 31 11. 4. 1~13. 3. 31
生活科学部選出委員	本間清一 富永典子	10. 4. 1~12. 3. 31
会計課長	白井清二	
施設課長	鈴木重之	

理学部放射化学実験室運営委員会  
(理学部事務部)

官職等	氏名	任期
理学部長	*平野恒夫	
放射化学実験室長	松浦悦子	
放射線取扱主任者	古田悦子	
文教育学部選出委員	杉谷隆	10. 4. 1~12. 3. 31
理学部選出委員	浜谷望 小川温子 室伏きみ子	10. 10. 1~12. 9. 30
生活科学部選出委員	藤原葉子 富永典子	11. 10. 1~13. 9. 30

理学部極低温実験室運営委員会 (理学部事務部)

官職等	氏名	任期
理学部長	*平野恒夫	
極低温実験室長	浜谷望	
理学部選出委員	富永靖徳 永野肇 芦原坦	11. 4. 1~13. 3. 31 10. 4. 1~12. 3. 31
生活科学部選出委員	畑江敬子	

情報処理センター運営委員会 (理学部事務部)

官職等	氏 名	任 期
情報処理 センター長	*細 矢 治 夫	
情報処理 センター 主 任	粕 川 正 充	
文教育学部 選出委員	宮 尾 正 樹 石 口 彰	10.10. 1~12. 9.30
理 学 部 選出委員	小 林 功 佳 森 義 仁	
生活科学部 選出委員	村 田 容 常 伊 藤 美 奈 子	
大学院人間 文化研究科 選出委員	内 藤 俊 史	
ジェンダー 研究センター 選出委員	館 かおる	10.10. 1~12. 9.30
生活環境研 究センター 選出委員	富 永 典 子	
附 属 図 書 館 長	小 池 三 枝	
学 生 部 長	福 田 豊	
カリキュラ ム委員会 委員長	竹 尾 富 貴 子	

附属図書館運営委員会 (附属図書館事務部)

官職等	氏 名	任 期
附 属 図 書 館 長	*小 池 三 枝	
文教育学部 選出委員	大 塚 常 樹 天 野 知 香	10. 4. 1~12. 3.31 10.10. 1~12. 9.30
理 学 部 選出委員	横 川 光 司 鷹 野 景 子	10. 4. 1~12. 3.31
生活科学部 選出委員	徳 井 淑 子 長 谷 部 ヤ エ	10.10. 1~12. 3.31 11. 4. 1~13. 3.31
大学院人間 文化研究科 選出委員	天 野 正 子 芦 原 坦	11. 6. 1~13. 5.31
ジェンダー 研究センター 選出委員	館 かおる	10. 4. 1~12. 3.31
生活環境研 究センター 選出委員	富 永 典 子	10. 4. 1~12. 3.31
情報処理 センター長	細 矢 治 夫	
カリキュラ ム委員会 委員長	竹 尾 富 貴 子	

附属学校委員会 (附属学校部)

官職等	氏名	任期
附属 学校部長	* 石川 宏	
文教育学部 選出委員	平野 由紀子	11. 4. 1 ~13. 3. 31
理学部 選出委員	室伏 きみ子	10. 4. 1 ~12. 3. 31
生活科学部 選出委員	無藤 隆	10.11.1 ~12. 3. 31
事務局長	橋本 幹夫	
附属 小学校長	高島 元洋	
附属 中学校長	田宮 兵衛	
附属 高等学校長	藤枝 修子	
附属 幼稚園長	片岡 康子	
附属 小学校教頭	星野 征男	
附属 中学校教頭	井上 泰次	
附属高等 学校教頭	早崎 捷治	
附属 幼稚園教頭	榊田 正子	

附属学校教育研究委員会 (附属学校部)

官職等	氏名	任期
附属 学校部長	* 石川 宏	
文教育学部 選出委員	牛江 ゆき子	
理学部 選出委員	室伏 きみ子	10. 4. 1 ~12. 3. 31
生活科学部 選出委員	牧野 カツコ	
文教育学部 人間社会科学科 選出委員	酒井 朗	11. 4. 1 ~13. 3. 31
生活科学部 人間生活学科 選出委員	無藤 隆	10. 4. 1 ~12. 3. 31
附属 小学校長	高島 元洋	
附属 中学校長	田宮 兵衛	
附属 高等学校長	藤枝 修子	
附属 幼稚園長	片岡 康子	
附属 小学校教頭	星野 征男	
附属 中学校教頭	井上 泰次	
附属高等 学校教頭	早崎 捷治	
附属 幼稚園教頭	榊田 正子	
附属小学校 選出委員	猶原 和子	11. 4. 1~13. 3. 31
	田中 千尋	10. 4. 1~12. 3. 31
附属中学校 選出委員	加々美 勝久	11. 4. 1~12. 3. 31
	宮本 乙女	11. 4. 1~13. 3. 31
附属 高等学校 選出委員	小菅 和也	11. 4. 1~13. 3. 31
	石出 みどり	10. 4. 1~12. 3. 31
附属幼稚園 選出委員	吉岡 晶子	11. 4. 1~13. 3. 31
	上坂元 絵里	10. 4. 1~12. 3. 31

# 人 事

## 人 事 異 動

発令年月日	氏 名	官 職 等	異 動 前 の 所 属 ・ 職 名
◇ 採 用			
11. 10. 1	富士原紀絵	助 手 (文教育学部)	
◇ 昇 任			
11. 10. 1	中 村 俊 直	教 授 (文教育学部)	助教授 (文教育学部)
"	森 本 せ つ	助教授 (理 学 部)	助 手 (理 学 部)
"	藤 原 葉 子	助教授 (生活科学部)	講 師 (生活科学部)
"	大 池 真 知 子	講 師 (広島大学総合科学部)	助 手 (大学院人間文化研究科)
◇ 配 置 換			
11. 10. 1	米 田 俊 彦	助教授 (大学院人間文化研究科)	助教授 (文教育学部)
◇ 転 任			
11. 10. 1	駒 込 武	助教授 (京都大学大学院教育学研究科)	助教授 (大学院人間文化研究科)
◇ 併 任			
11. 10. 1	秋 山 光 文	評 議 員 併任期間 平成13年9月30日	(文教育学部教授)
"	中 村 弓 子	評 議 員 併任期間 平成13年9月30日	"
"	鷹 野 光 行	評 議 員 併任期間 平成13年9月30日	"
"	菅 本 晶 夫	評 議 員 併任期間 平成13年9月30日	(理学部教授)
"	永 野 肇	評 議 員 併任期間 平成13年9月30日	"
"	笠 原 勇 二	評 議 員 併任期間 平成13年9月30日	"



◎非常勤職員

発令年月日	氏名	官 職 等	任 期	備 考
◇ 採 用				
11. 9. 1	鈴木清	教務補佐員	12. 3. 31	
" "	木水子	"	"	
11. 9. 6	理淑友	事務補佐員	"	
11. 10. 1	塩田明	教務補佐員	"	
" "	岸本恵	"	"	
" "	池梅澤	"	"	
" "	木村千	"	"	
" "	櫻井聖	"	"	
" "	新田美	"	"	
" "	亀口ま	"	"	
" "	村山洋	ティーチング・アシスタント	12. 2. 29	
" "	大辻富	"	"	
" "	大島陽	"	"	
" "	佐藤真	"	"	
" "	中野美	"	"	
" "	蜂谷沙	"	"	
" "	山田文	"	"	
" "	石川富	"	"	
" "	京極三	"	"	
" "	木村文	"	"	
" "	三井優	"	"	
" "	佐藤朋	"	"	
" "	篠田有	"	"	
" "	天野牙	"	"	
" "	岡窪麻	"	"	
" "	窪田愛	"	"	
" "	伊福美	"	"	
" "	吉田奈	"	"	
" "	佐伯麻	"	"	
" "	田中昭	"	"	
" "	金子淑	"	"	
" "	門脇聡	"	"	
" "	鼠尾ま	"	"	
" "	藤原優	"	"	
" "	鈴木祐	"	"	
" "	高本有	"	"	
" "	大友美	"	"	
" "	松永靖	"	"	
" "	矢口節	"	"	
" "	高間昌	"	"	
" "	小川ち	"	"	
" "	三輪公	"	"	
" "	河山延	"	"	
" "	高橋美	"	"	
" "	川口ゆ	"	"	
" "	楠口佳	"	"	
" "	青木悦	"	"	
" "	永玲	"	"	
" "	柳蓮	"	"	
" "	増田陽	"	"	

発令年月日	氏名	官職等	任期	備考
11. 10. 1	吉見直枝	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	12. 2. 29	
"	國本正子	"	"	
"	松永真季	"	"	
"	清和千佳	"	"	
"	上田晴子	"	"	
"	内藤まゆみ	"	"	
"	齋藤百江	"	"	
"	北島佐知子	"	"	
"	西村まどか	"	"	
"	糸野幸子	"	"	
11. 10. 15	渡邊麻子	"	"	
"	浅井さやか	"	"	
11. 10. 18	佐藤寿美子	事務補佐員 (学務課)	12. 3. 31	
"	岡崎紀明	教務補佐員 (理学部)	"	
◇ 任用更新				
11. 10. 1	東山成江	教務補佐員 (理学部)	12. 3. 31	
"	篠原乙記	" (生活科学部)	"	
"	伊藤亜紀	"	"	
◇ 退職				
11. 9. 30	富士原紀絵	" (文教育学部)		
"	岡田朋子	" (理学部)		
"	中尾朗佐	"		
11. 10. 15	西村佐保子	事務補佐員 (学務課)		
"	中黒川智美	教務補佐員 (理学部)		

◎非常勤講師

発令年月日	氏名	官職等	任期	備考
◇ 採用				
11. 9. 1	鈴木 惟司	講師 (理学部)	11. 9. 30	東京都立大学助教授
11. 9. 28	澤田 美智	" (附属小学校)	11. 11. 2	
11. 10. 1	大久保 純一	" (文教育学部)	12. 3. 31	跡見学園女子大学助教授
"	小林 頼子	"	"	
"	岡村 多佳夫	"	"	東京造形大学教授
"	秋山 喜代子	"	"	
"	弓削 尚子	"	"	
"	森田 朋子	"	"	
"	石崎 研二	"	"	東京都立大学助手
"	谷川 尚哉	"	"	中央学院大学講師
"	寄藤 賢太郎	"	"	中京女子大学研究員
"	兼重 賢太郎	"	"	計量計画研究所研究員
"	首藤 素子	"	"	駒澤大学教授
"	吉山 昭子	"	"	
"	大久保 恵子	"	"	東京成徳大学助教授
"	楊木 達豊	"	"	成城大学助教授
"	青藤 典友	"	"	国学院大学考古資料館学芸員
"	岡崎 坂典子	"	"	東洋大学講師
"	宮下 孝久	"	"	放送大学助教授
"	宮田 芳久	"	"	東海大学教授
"	明塚 千鶴子	"	"	百合女子大学助教授
"	手塚 眞紀子	"	"	上智大学教授
"	原田 悦子	"	"	慶應義塾大学助教授
"	石井 巖子	"	"	東京都立大学助教授
"	下條 英忠	"	"	法政大学教授
"	石原 橋二	"	"	立教大学教授
"	大佐々木 玲子	"	"	文京女子大学助教授
"	美山 良夫	"	"	国立音楽大学教授
"	宮崎 沢司	"	"	大東文化大学助教授
"	黒塚 田真	"	"	慶應義塾大学助教授
"	車島 静雄	"	"	慶應義塾大学教授
"	小葉野 昭佳	"	"	早稲田大学助教授
"	溝口 佳孝	"	"	東邦大学教授
"	熊倉 鴻之助	"	"	東京理科大学教授
"	土屋 守正	"	"	(社)日本分析化学会事務局長
"	清木 康美	"	"	武蔵大学教授
"	川内 眞由	"	"	立正大学教授
"	中島 唯仁	"	"	上智大学教授
"	佐藤 倫子	"	"	東海大学助教授
"	藤井 千子	"	"	慶應義塾大学教授
"	高橋 久子	"	"	(株)東芝開発センター研究主務
"	國井 秀子	"	"	
"	弘遠 兼山	"	"	(株)リコー開発本部ソフトウェア研究所所長
"	都筑 元道	"	"	
"	足立 立夫	"	"	慶應義塾大学講師
"	入江 正秀	"	"	東京薬科大学教授
"	大山 子	"	"	東京電機大学教授
"		(生活科学部)	"	早稲田大学教授

発令年月日	氏名	官職等	任期	備考
11. 10. 1	永井正則	講師 (生活科学部)	12. 3. 31	山梨県環境科学研究所研究管理幹
"	小見山二郎	"	"	実践女子大学教授
"	相楽典泰	"	"	鹿島建設技術研究所次長
"	山口静子	"	"	東京農業大学教授
"	伊藤夏子	"	"	"
"	小野寺義幸	"	"	"
"	前田美穂	"	"	日本医科大学講師
"	真家和睦	"	"	大妻女子大学助教授
"	斉藤こずゑ	"	"	国学院大学教授
"	沢宮容子	"	"	足利短期大学専任講師
"	吉川はる奈	"	"	"
"	西本絹子	"	"	自治医科大学助教授
"	高加藤敏子	"	"	"
"	日笠摩子	"	"	大正大学教授
"	上垣内伸子	"	"	十文字学園女子短期大学助教授
"	小柴崎正行	"	"	東京家政大学教授
"	柿沼沼田昌憲	"	"	国民生活センター教務課課長補佐
"	安油木井下藤康宗	"	"	成城大学教授
"	新加藤藤和久	"	"	立教大学教授
"	白井野勝子	"	"	成蹊大学教授
"	今小勝悦子	"	"	相模女子大学短期大学部教授
"	今澤田留秀美	"	"	東京法律事務所弁護士
"	加藤養美	"	"	栃木県立美術館主任学芸員
"	脇坂久和	"	"	放送大学学園助教授
"	南清岡睦	"	"	"
"	清水村康純	"	"	明治学院大学助教授
"	田川知美	"	"	日本女子大学教授
11. 10. 18	黒川知美	講師 (大学院人間文化研究科)	"	学習院大学教授
		講師 (研究機関研究員) (ジェンダー研究センター)	"	東京都立大学教授
			"	慶應義塾大学教授
			"	東京都立大学教授
			"	日本女子大学教授

◇ 併任

11. 9. 1	嶋野道弘	講師 (生活科学部)	11. 9. 30	文部省初等中等教育局小学校課教科調査官
11. 10. 1	谷田部玲生	" (文教育学部)	12. 3. 31	国立教育研究所教科教育研究部主任研究官
"	井村哲郎	"	"	新潟大学教授
"	新免康子	"	"	東京外国語大学助教授
"	田原裕子	"	"	東京大学助手
"	若林幹夫	"	"	筑波大学助教授
"	中田基昭	"	"	東京大学教授
"	窪田真二	"	"	筑波大学助教授
"	高橋道彦	"	"	東京学芸大学教授
"	丹野義彦	"	"	東京大学助教授
"	西野真由美	"	"	国立教育研究所主任研究官
"	伊集院清一	"	"	埼玉大学助教授
"	小野康一	"	"	横浜国立大学助教授
"	森司朗	"	"	東京学芸大学助教授
"	川村大人	"	"	東京外国語大学講師
"	田中勝人	" (理学部)	"	一橋大学教授

発令年月日	氏名	官職等	任期	備考
11. 10. 1	林彦夫	講師 (理学部)	12. 3. 31	東京大学教授
"	利隆	"	"	東京大学教授
"	尻来正	"	"	東京大学助教授
"	井寶吉	"	"	東京工業大学助教授
"	鷹野澄	"	"	電気通信大学助教授
"	三宅洋幸	"	"	千葉大学助教授
"	富田幸一	"	"	国立科学博物館古生物第三研究室長
"	西田友秀	"	"	東京大学助教授
"	板橋文一郎	"	"	筑波大学助教授
"	岸野克己	"	"	大阪大学助教授
"	田中藤和	"	"	神戸大学助教授
"	齊藤耕太郎	"	"	千葉大学助教授
"	小坂田耕太郎	"	"	東京工業大学助教授
"	乃万司	"	"	九州工業大学助教授
"	近藤矩宗	"	"	東京大学助教授
"	杉山裕之	"	"	国立道徳研究所教授
"	栗栖太三	"	"	東京大学助教授
"	伊藤耕英	(生活科学部)	"	東京大学助教授
"	山西村英敏	"	"	東京水産大学助教授
"	佐藤藤太郎	"	"	広島大学助教授
"	大塚柳太郎	"	"	筑波大学助教授
"	市川雅正	"	"	東京外国語大学助教授
"	内丸山安増	"	"	筑波大学助教授
"	丸子澤映二	(大学院人間文化研究科)	"	国立歴史民俗博物館助教授
"	大佐木正人	"	"	京都大学助教授
"	清水明子	"	"	豊橋技術科学大学助教授
"	天羽直輝	"	"	東京大学助教授
"	郷田清一	"	"	群馬大学助教授
"	西原合信	"	"	国立天文台助教授
"	落東田信裕	"	"	筑波大学助教授
"	福浅島武二	"	"	電気通信大学助教授
"	駒込隆一郎	"	"	東京大学助教授
"	畑田裕之	"	"	京都大学助教授
11. 10. 20	田島裕	(理学部)	"	東京医科大学助教授

◇ 兼 担

11. 10. 1	福田恒厚	講師 (文教育学部)	12. 3. 31	附属中学校教諭
"	長坂正利	"	"	附属小学校教諭
"	松木善之	"	"	"
"	黒部文男	"	"	"
"	磯貝和枝	(理学部)	"	附属高等学校教諭
"	佐々木	"	"	附属中学校教諭

◇ 退 職

11. 9. 13	ヘン・ジュリア・ライ オズ	講師 (附属高等学校)		
-----------	------------------	-------------	--	--

# 学 事

## ○平成12年度お茶の水女子大学学生募集要項 (一般選抜)

### 1 学部・学科別募集人員

学部名	学科等名	入学定員	募集人員		備 考
			前期日程	後期日程	
文 教 育 学 部	人 文 科 学 科	57	34	13	推薦入学10名
	言 語 文 化 学 科	84	59	25	
	人 間 社 会 科 学 科	42	33	9	
	芸 術 ・ 表 現 行 動 学 科 「舞踊教育学コース」	29	17	—	(前期日程のみ募集)
	「音楽表現コース」		5	4	推薦入学 3名
小 計	212	148	51	推薦入学13名	
理 学 部	数 学 科	20	12	3	推薦入学 5名 帰国子女特別選抜 若干名
	物 理 学 科	20	14	3	推薦入学 3名 帰国子女特別選抜 若干名
	化 学 科	20	14	3	推薦入学 3名 帰国子女特別選抜 若干名
	生 物 学 科	25	17	4	推薦入学 4名 帰国子女特別選抜 若干名
	情 報 科 学 科	40	23	7	推薦入学10名 帰国子女特別選抜 若干名
	小 計	125	80	20	推薦入学25名 帰国子女特別選抜 若干名
生 活 科 学 部	生 活 環 境 学 科	63	45	9	推薦入学 9名
	人 間 生 活 学 科	68	46	10	推薦入学12名
	小 計	131	91	19	推薦入学21名
合 計	468	319	90	推薦入学59名 帰国子女特別選抜 若干名	

〔注1〕 文教育学部芸術・表現行動学科「舞踊教育学コース」では、前期日程のみの募集で、後期日程の募集は行わない。

〔注2〕 理学部の帰国子女特別選抜の若干名は、前期日程に含む。

#### 入学定員の減員計画について

本学の入学定員については、上記の表のとおりであるが、下記の学部・学科において入学定員の減員計画を予定している。

**文教育学部** 人文科学科では57人を55人に、言語文化学科では84人を80人に、人間社会科学科では42人を40人に、芸術・表現行動学科では29人を27人にする減員計画を予定している。

**生活科学部** 生活環境学科では63人を60人に、人間生活学科では68人を65人にする減員計画を予定している。なお、理学部の減員計画はない。

この減員計画は、平成12年度予算の関係で現在は未確定であるが、詳細については、平成12年度政府予算案の決定後（平成12年1月頃）、「募集要項」（追加）で発表する予定である。

## 2 出願資格

下記のいずれかに該当する女子で、かつ、平成12年度大学入試センター試験で本学が指定した教科・科目を受験した者

- (1) 高等学校（中等教育学校を含む。）を卒業した者及び平成12年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成12年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第69条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成12年3月31日までにこれに該当する見込みの者

〔平成12年度大学入学者選抜大学入試センター試験受験案内の2～5ページ〕  
〔「2 出願資格と出願資格を証明する書類」の項参照のこと。〕

## 3 出願手続

### (1) 出願期間

前期日程、後期日程とも平成12年1月24日（月）から2月2日（水）までの間に必着するよう郵送すること。

ただし、2月1日（火）以前の発信局消印のある書留速達に限り、期限後に到着した場合でも受理する。

### (2) 出願方法

志願者は、出願書類を一括して、**本学所定の封筒**を用い**書留速達**で下記あてに郵送すること。

〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号  
お茶の水女子大学入学主幹室入学試験係

### (3) 出願について

#### ① 他の国公立大学との併願について

【前期日程】と【後期日程】において、2つの国公立大学に出願する場合は、「前期－前期」、  
「後期－後期」の組み合わせで併願することはできない。

#### ② 本学の併願について

本学の【前期日程】に出願する者が本学の【後期日程】を併願してもよい。なお、【前期日程】  
と【後期日程】で志望する学部・学科が異なっても差し支えないが、【前期日程】、【後期日程】  
のいずれも1つの学部・学科に限る。

#### ③ 本学又は他の国公立大学（「私立産業医科大学」を含む。以下同じ）の「前期日程試験」に合格し、平成12年3月15日（水）までに入学手続きを行った者は、「後期日程試験」を受験してもその合格者とはならない。

#### ④ 本学又は他の国公立大学の推薦入学の合格者は、本学の個別学力検査等（第2次試験）を受験してもその合格者とはならない。

ただし、当該大学の推薦入学の辞退を許可されたものは除く。

#### ⑤ 本学の推薦入学及び帰国子女特別選抜の志願者で、合格とならなかった者が同じ学部に出願する場合は、出願書類等のうち、調査書及び健康診断書は提出しなくてもよい。

#### ⑥ 出願書類不備の場合は受理しない。また、一旦受理した書類は返却しない。

(4) 出願書類等

1	出願カード (志願者名票) (写真票) (受験票)	本学所定のもの。 「出願カード記入上の注意」(17ページ)を参照し、記入すること。 文教育学部、理学部及び生活科学部の各学部それぞれ前期日程用・後期日程用の6種類があるので、該当するカードに記入すること。 各学部の前期日程用には「平成12年度大学入試センター試験成績請求票」の(前)用を、各学部の後期日程用には(後)用をそれぞれ所定欄にはりつけること。
2	入学志願者 マークカード	「入学志願者マークカード記入上の注意」(19ページ)を参照し、本学所定のマークカードに記入すること。
3	調 査 書	出身学校長が作成し、厳封したもの。ただし、出願資格(3)に該当する者は当該試験等の成績証明書を提出すること。
4	実技関係調査 用紙	文教育学部芸術・表現行動学科を志願する者のみ本学所定の用紙で提出すること。
5	健康診断書	平成10年3月以前の高等学校卒業生及び出願資格(3)に該当する者は「視力聴力、結核及びその他の疾病、異常等」について医師が作成した健康診断書(様式は特に定めない。)(出願前3か月以内のもの。)を提出すること。 平成11年3月高等学校卒業生及び平成12年3月高等学校卒業見込みの者は提出しなくてよい。
6	検 定 料	郵便局振出しの17,000円の「普通為替証書」として受取人指定欄に「お茶の水女子大学」とのみ書くこと。 (注)(1) 第1段階選抜の不合格者に対しては、13,000円を返還する。 (2) 上記の(1)に該当する者は、平成12年3月31日までに申し出ること。 (3) 上記(1)の場合以外は、いかなる理由があっても既納の検定料は返還しない。
7	検定料納付書 (原符・領収 証書)	本学所定の「原符・領収証書」に必要事項を記入し、裏面に志願者の住所・氏名・郵便番号を記入し50円切手を貼付すること。 領収証書には受験番号が記載されているので、大切に保管すること。
8	受 験 許 可 書	大学に在学している者は、学長・学部長・学生部長のいずれかが本学の受験を許可した証明書を提出すること。(様式は特に定めない。)
9	受験票返送用 封筒	本学所定の封筒に350円切手(速達料を含む。)を貼付し、志願者の住所氏名及び郵便番号を記入すること。
10	あ て 名 票	合格通知に使用するので、本学所定の用紙に志願者の住所・氏名・郵便番号を記入すること。郵便切手は貼付しないでよい。
11	合格者受験番 号表申込用紙 (電子郵便)	希望する者は、本学所定の用紙を用い580円分の切手を貼ること。



備 考

- ① 出願カードは文教育学部、理学部及び生活科学部の各学部それぞれ前期日程用・後期日程用の6種類があり、その他の出願書類は〔前期日程用〕と〔後期日程用〕の2種類があるので、志望する学部の提出書類を確認のうえ提出すること。
- ② 前期日程と後期日程の両方に出願する場合（併願）は、2種類の出願書類等をそれぞれ所定の封筒で提出すること。
- ③ 志願用封筒下欄の志願者欄に志望学科等を明記すること。  
 また、前期日程の文教育学部及び生活科学部志願者のうち次に該当する者は、受験を希望する学力検査受験区分の国語又は数学のいずれかに○をつけること。  
 文教育学部 人文科学科、人間社会科学科、芸術・表現行動学科「音楽表現コース」  
 生活科学部 人間生活学科

(5) 身体に障害のある入学志願者の出願

本学に入学を志望する者のうち、身体に障害があり、受験上特別な措置を希望する者については、事前相談を行うので、出願する前のできるだけ早い時期に本学入学主幹室に申し出て(電話可)、「受験特別措置事前相談申請書」を受領のうえ、原則として、平成12年1月21日(金)までに必要書類(医師の診断書等)を添えて提出すること。

なお、点字又は代筆による解答を希望する者については、平成11年12月17日(金)までに申し出ること。

また、日常生活においては、ごく普通に使用されている補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合も、試験場の設定等との関係から特別措置として取り扱うこととしているので、前記と同様に申し出に先立ち本学入学主幹室に申し出ること。

お茶の水女子大学入学主幹室入学試験係 〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号  
 電 話 (03) 5978-5151~2

障害の種別	障 害 の 程 度
〔ア〕 視覚障害者	1. 点字による教育を受けている者 2. 良い方の目の矯正視力が0.15未満の者 3. 両眼による視野について視能率による損失率が90%以上の者 4. 上記以外の視覚障害者
〔イ〕 聴覚障害者	1. 両耳の平均聴力レベルが100デシベル以上の者 2. 上記以外の聴覚障害者
〔ウ〕 肢体不自由者	1. 体幹の機能障害により座位を保つことができない者又は困難な者 2. 両上肢の機能障害が著しい者 3. 上記以外の肢体不自由者
〔エ〕 病弱者	1. 慢性の胸部、心臓、腎臓疾患等の状態が6月以上の医療・生活規制を必要とする程度の者又はこれに準じる者
〔オ〕 その他	〔ア〕～〔エ〕の区分以外の者で特別措置を必要とする者

#### 4 大学入試センター試験で受験を要する教科等

本学に入学を希望する者は、推薦入学及び帰国子女特別選抜への出願を除き、下表に示す平成12年度大学入試センター試験を受験していなければ、出願し、受験しても入学許可は得られないので十分注意すること。

特に、\*印科目の受験資格に留意すること。

文教育学部

学科名等	選抜方法の区分	大学入試センター試験で入学志願者に解答させる教科・科目名	受験を要する教科数
人文科学科	前期日程	国(国I・国II) 地歴(世B、日B、地理A、地理B)}から1 公民 数(数I・数A)と(数II・数B、工*、簿*、情報*から1) 理(物B、化B、生B、地学Bから1) 外	5教科
	後期日程	国(国I・国II) 地歴(世B、日B、地理A、地理B)}から1 公民 理(物B、化B、生B、地学B)}から1 数(数I・数A)と(数II・数B、工*、簿*、情報*から1) 外	3教科
言語文化学科	前期日程	国(国I・国II) 地歴(世B、日B、地理A、地理B)}から1 公民 数(数I・数A)と(数II・数B、工*、簿*、情報*から1) 理(物B、化B、生B、地学Bから1) 外	5教科
	後期日程	国(国I・国II) 地歴(世B、日B、地理A、地理B)}から1 公民 数(数I・数A)と(数II・数B、工*、簿*、情報*から1) 理(物B、化B、生B、地学Bから1) 外	
人間社会科学科	前期日程	国(国I・国II) 地歴(世B、日B、地理A、地理B)}から1 公民 数(数I・数A)と(数II・数B、工*、簿*、情報*から1) 理(物B、化B、生B、地学Bから1) 外	5教科
	後期日程	国(国I・国II) 地歴(世B、日B、地理A、地理B)}から1 公民 理(物B、化B、生B、地学B)}から1 数(数I・数A)と(数II・数B、工*、簿*、情報*から1) 外	4教科
芸術・表現行動学科 「舞踊教育学コース」 「音楽表現コース」	前期日程	国(国I・国II) 地歴(世B、日B、地理A、地理B)}から1 公民 数(数I・数A)と(数II・数B、工*、簿*、情報*から1) 理(物B、化B、生B、地学Bから1) 外	5教科
	後期日程	国(国I・国II) 数(数I・数A)と(数II・数B、工*、簿*、情報*から1) 外	3教科

[注] 「舞踊教育学コース」は、前期日程のみの募集である。

理学部・生活科学部

学科名等	選抜方法の区分	大学入試センター試験で入学志願者に解答させる教科・科目名	受験を要する教科数
理学部 数学科	前期日程	国(国Ⅰ・国Ⅱ) 数(数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B、工*、簿*、情報*から1) 理(物B、化B、生B、地学Bから1) 外(英、独、仏から1)	4教科
	後期日程		
物理学科	前期日程	国(国Ⅰ・国Ⅱ) 数(数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B、工*、簿*、情報*から1) 理(物B、化B、生B、地学Bから1) 外(英、独、仏から1)	4教科
	後期日程		
化学科	前期日程	国(国Ⅰ・国Ⅱ) 数(数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B、工*、簿*、情報*から1) 理(物B、生Bから1)と(化B、地学Bから1) 外(英、独、仏から1)	4教科
	後期日程		
生物学科	前期日程	国(国Ⅰ・国Ⅱ) 数(数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B、工*、簿*、情報*から1) 理(物B、化B、生B、地学Bから1) 外(英、独、仏から1)	4教科
	後期日程		
情報科学科	前期日程	国(国Ⅰ・国Ⅱ) 数(数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B、工*、簿*、情報*から1) 理(物B、化B、生B、地学Bから1) 外(英、独、仏から1)	4教科
	後期日程		
生活科学部 生活環境学科	前期日程	国(国Ⅰ・国Ⅱ) 地歴 } から1 公民 } 数(数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B、工*、簿*、情報*から1) 理(物B、生Bから1)と(化B、地学Bから1) 外(英、独、仏から1)	5教科
	後期日程		
人間生活学科	前期日程	国(国Ⅰ・国Ⅱ) 地歴 } から1 公民 } 数(数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B、工*、簿*、情報*から1) 理(物B、化B、生B、地学Bから1) 外(英、独、仏から1)	5教科
	後期日程		

\* 大学入試センター試験の「工業数理」、「簿記」、「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校においてこれらの科目を履修した者及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限る。

(注1) 3学部とも大学入試センター試験で、指定した教科・科目の範囲内で2科目以上受験している場合は、高得点の科目の成績を用いる。文教育学部「人文科学科」後期日程は(注2)を参照。

(注2) 「人文科学科」後期日程の大学入試センター試験では、「国語」、「地理歴史、公民、理科から1」、「数学」、「外国語」から3教科・科目を受験するものとするが、指定した教科・科目の範囲内で4教科・科目以上受験した場合は、高得点の順に3教科・科目の成績を用いる。なお、「地理歴史、公民、理科から1」で2教科・科目以上受験した場合も、高得点の教科・科目の成績を用いる。

## 5 本学の入学試験

### (1) 個別学力検査期日

#### 【前期日程】

文教育学部	平成12年 2月25日(金) (「舞踊教育学コース」実技検査)
//	26日(土) (「舞踊教育学コース」及び「音楽表現コース」実技検査)
理 学 部	平成12年 2月25日(金)
生活科学部	平成12年 2月25日(金)

#### 【後期日程】

文教育学部	平成12年 3月13日(月) (「音楽表現コース」実技検査)
理 学 部	平成12年 3月13日(月)
生活科学部	平成12年 3月13日(月)

### (2) 個別学力検査等の教科・科目等

#### 文教育学部

学科名等	選抜方法の区分	個別学力検査等の教科・科目等	備 考
人 文 科 学 科	前期日程	国 (国Ⅰ・国Ⅱ・古Ⅰ・古Ⅱ) 数 (数Ⅰ・数Ⅱ・数A*・数B*) } から1 外 (英Ⅰ・英Ⅱ・リーディング、独、仏、中から1)	数A*(数と式、数列) 数B*(ベクトル、複素数 と複素数平面)
	後期日程	小 論 文	
言 語 文 化 学 科	前期日程	国 (国Ⅰ・国Ⅱ・古Ⅰ・古Ⅱ) 外 (英Ⅰ・英Ⅱ・リーディング、独、仏、中から1)	
	後期日程	小 論 文	
人 間 社 会 科 学 科	前期日程	国 (国Ⅰ・国Ⅱ・古Ⅰ・古Ⅱ) 数 (数Ⅰ・数Ⅱ・数A*・数B*) } から1 外 (英Ⅰ・英Ⅱ・リーディング、独、仏、中から1)	
	後期日程	小論文、面接	
芸 術 ・ 表 現 行 動 学 科	前期日程	「舞踊教育学コース」実 技 検 査 「音楽表現コース」 国 (国Ⅰ・国Ⅱ・古Ⅰ・古Ⅱ) 数 (数Ⅰ・数Ⅱ・数A*・数B*) } から1 外 (英Ⅰ・英Ⅱ・リーディング、独、仏、中から1) 実 技 検 査	「舞踊教育学コース」では、後期日程の募集は行わない。
	後期日程	「音楽表現コース」 実 技 検 査	

理学部・生活科学部

学科名等	選抜方法 の区分	個別学力検査等 の教科・科目等	備考
理学部 数学科	前期日程	数学共通(数Ⅰ・数Ⅱ・数A*・数B*) 数(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A*・数B*・数C*) 理(物B・物Ⅱ、化B・化Ⅱ、生B・生Ⅱから1)	数A*(数と式、数列) 数B*(ベクトル、複素数 と複素数平面) 数C*(行列と線形計算、 いろいろな曲線)
	後期日程	数(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A*・数B*・数C*)	
物理学科	前期日程	数学共通(数Ⅰ・数Ⅱ・数A*・数B*) 数、理(物B・物Ⅱ)と(数Ⅲ・数C*、化B・化Ⅱ、 生B・生Ⅱから1)	
	後期日程	個別学力検査は課さない。	
化学科	前期日程	数学共通(数Ⅰ・数Ⅱ・数A*・数B*) 理(化B・化Ⅱ)と(物B・物Ⅱ、生B・生Ⅱから1)	
	後期日程	個別学力検査は課さない。	
生物学科	前期日程	数学共通(数Ⅰ・数Ⅱ・数A*・数B*) 理(生B・生Ⅱ)と(物B・物Ⅱ、化B・化Ⅱから1)	
	後期日程	個別学力検査は課さない。	
情報科学科	前期日程	数学共通(数Ⅰ・数Ⅱ・数A*・数B*) 数(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A*・数B*・数C*) 数、理(数Ⅲ・数C*、物B・物Ⅱ、化B・化Ⅱ、 生B・生Ⅱから2)	
	後期日程	個別学力検査は課さない。	
生活科学部 生活環境学科	前期日程	数(数Ⅰ・数Ⅱ・数A*・数B*) 外(英Ⅰ・英Ⅱ・リーディング、独、仏から1)	数A*(数と式、数列) 数B*(ベクトル、複素数 と複素数平面)
	後期日程	面接	
人間生活学科	前期日程	国(国Ⅰ・国Ⅱ・古Ⅰ・古Ⅱ) 数(数Ⅰ・数Ⅱ・数A*・数B*) } から1 外(英Ⅰ・英Ⅱ・リーディング、独、仏から1)	
	後期日程	面接	

(3) 試験教科・科目別配点

文教育学部

【前期日程】

試験区分		大学入試センター試験					本学の試験					合計	
学科名	教科・科目等	国語	地理 歴史 公民	数学	理科	外国語	計	国語	数学	外国語	実技		計
	人文科学科												
言語文化学科		100	50	100	50	100	400	200	—	200	—	400	800
人間社会科学科		100	50	100	50	100	400	(200)	(200)	200	—	400	800
芸術・表現行動学科	舞踊	100	50	100	50	100	400	—	—	—	200	200	600
	音楽	100	50	100	50	100	400	(200)	(200)	200	※	400	800

※ 音楽表現コースの実技については、総合判定の資料とする。

〔注〕人文科学科、人間社会科学科、芸術・表現行動学科は、( )から1科目選択

理学部

試験区分		大学入試センター試験					本学の試験						合計	
学科名	教科・科目等	国語	地理 歴史 公民	数学	理科	外国語	数 学			理 科				計
							*数学I	*数学II	*数学	物理	化学	生物		
							数 学 科	50	—	50	50	100	250	
物 理 学 科	50	—	50	50	100	250	100	—	(100)	200	(100)	(100)	400	650
化 学 科	50	—	50	50	100	250	100	—	—	(100)	200	(100)	400	650
生 物 学 科	50	—	50	50	100	250	100	—	—	(100)	(100)	200	400	650
情 報 科 学 科	50	—	50	50	100	250	100	100	(100)	(100)	(100)	(100)	400	650

〔注〕数学科、物理学科、化学科、生物学科は、( )から1科目選択、情報科学科は、( )から2科目選択

\* 数学共通 [数I・数A(数と式、数列)、数II・数B(ベクトル、複素数と複素数平面)]

\* 数学専門 [数学共通、数III・数C(行列と線形計算、いろいろな曲線)]

\* 数学 [数III・数C(行列と線形計算、いろいろな曲線)]

生活科学部

試験区分		大学入試センター試験					本学の試験				合計	
学科名	教科・科目等	国語	地理 歴史 公民	数学	理科	外国語	計	国語	数学	外国語		計
	生活環境学科											
人間生活学科		150	100	100	50	100	500	(250)	(250)	250	500	1000

〔注〕大学入試センター試験の生活環境学科の理科は2科目の合計点とする。

〔注〕人間生活学科は、( )から1科目選択

文教育学部

【後期日程】

試験区分 教科・科目等 学科名	大学入試センター試験						本学の試験				合計
	国語	地理 歴史 公民	数学	理科	外国語	計	小論文	面接	実技	計	
人文科学科	(50)	*(50)	(50)	*(50)	(50)	150	100	—	—	100	250
言語文化学科	100	50	100	50	100	400	200	—	—	200	600
人間社会科学科	100	(100)	100	(100)	100	400	100	—	—	100	500
芸術・表現行動学科	100	—	100	—	200	400	—	—	※	—	400

(注1) 人文科学科は、( )の「国語」、\*「地理歴史、公民、理科から1」、「数学」、「外国語」から3教科・科目を選択。指定した教科・科目の範囲内で4教科・科目以上を受験した場合は、高得点の順に、3教科・科目の成績を用いる。

人文科学科の小論文は、英語文の短い論文をもとに日本語で論述する。なお、英和辞典(電子式を除く)の持ち込みを認める。

(注2) 人間社会科学科は、( )から1科目選択

(注3) 人間社会科学科の面接については、主として、小論文の解答をもとに行う。小論文及び面接の成績は、これらを総合した合計点とする。

(注4) 芸術・表現行動学科の「音楽表現コース」の※実技については、総合判定の資料とする。

(注5) 芸術・表現行動学科の「舞踊教育学コース」は、前期のみで後期の募集は行わない。

理学部

試験区分 教科・科目等 学科名	大学入試センター試験						本学の試験		合計
	国語	地理 歴史 公民	数学	理科	外国語	計	数学	計	
数学科	※	—	※	※	100	100	300	300	400
物理学科	50	—	200	200	100	550	—	—	550
化学科	100	—	100	200	100	500	—	—	500
生物学科	100	—	100	200	100	500	—	—	500
情報科学科	100	—	200	100	200	600	—	—	600

※ 数学科では、大学入試センター試験の受験を要する教科として国語、数学、理科及び外国語の4教科を課しているが、可否の判定には、外国語のみを用いる。

ただし、第1段階選抜を実施する場合は、大学入試センター試験の国語(50点)、数学(50点)、理科(50点)、外国語(100点)の配点とする。

生活科学部

試験区分 教科・科目等 学科名	大学入試センター試験						本学の試験
	国語	地理 歴史 公民	数学	理科	外国語	計	面接
生活環境学科	—	—	200	200	200	600	※
人間生活学科	200	—	200	—	200	600	※

※ 面接については、総合判定の資料とする。

(注) 大学入試センター試験の生活環境学科の理科は2科目の合計点とする。

## (4) 入学試験日時割

【前期日程】

学部・学科等		日 時		
		2月25日 (金)		
				26日 (土)
文 教 育	人 文 科 学 科	国語又は数学 10:00~11:40	外 国 語 13:10~14:50	
	言 語 文 化 学 科	国 語 10:00~11:40		
	人 間 社 会 科 学 科	国語又は数学 10:00~11:40		
学 部	芸 術 ・ 表 現 行 動 学 科 「舞 踊 教 育 学 コ ー ス」	実 技 10:00~		実 技 10:00~
	「音 楽 表 現 コ ー ス」	国語又は数学 10:00~11:40	外 国 語 13:10~14:50	実 技 10:00~
理 学 部	数 学 科	数学共通 10:00~11:40	数学専門・選択 (物理、化学、 生物) 13:10~16:10	
	物 理 学 科		物理・選択 (数学、化学、生物) 13:10~16:10	
	化 学 科		化学・選択 (物理、生物) 13:10~16:10	
	生 物 学 科		生物・選択 (物理、化学) 13:10~16:10	
	情 報 科 学 科		数学専門・選択 (物理、化学、 生物、数学) 13:10~16:10	
生 活 科 学 部	生 活 環 境 学 科	数 学 10:00~11:40	外 国 語 13:10~14:50	
	人 間 生 活 学 科	国語又は数学 10:00~11:40		



【後期日程】

日 時		3月13日(月)
学部・学科等		
文 教 育 学 部	人 文 科 学 科	小 論 文 10:00~12:00
	言 語 文 化 学 科	小 論 文 10:00~11:30
	人 間 社 会 学 科	小 論 文 10:00~11:30 面 接 13:00~
	芸 術 ・ 表 現 行 動 学 科 「音楽表現コース」	実 技 10:00~
理 学 部	数 学 科	数 学 10:00~13:00
	物 理 学 科	個別学力検査は課さない。
	化 学 科	個別学力検査は課さない。
	生 物 学 科	個別学力検査は課さない。
	情 報 科 学 科	個別学力検査は課さない。
生 活 科 学 部	生 活 環 境 学 科	面 接 10:00~
	人 間 生 活 学 科	

(5) 実技検査

○ 芸術・表現行動学科「舞踊教育学コース」志望者に次の検査を行う。

1 必須課題

- ア. 舞踊・スポーツに必要な身体支配能力をみるための基礎運動  
イ. 面接

2 選択課題

下記のア、イのいずれかを選択すること。

ア. 舞踊（下記の①と②を行う。）

- ① 既存作品：モダンダンス、バレエ、日本舞踊、民族舞踊やマイム、新体操などの表現領域から作品を自由に選択し、1分以内に演じる。自作・他作どちらでも可。使用する音楽（カセットテープに録音のこと）を持参のこと。

- ② 創作：課題は当日提示する。

イ. スポーツ（下記の①から③の全種目を行う。）

- ① バレーボール  
② バスケットボール  
③ テニス（硬式又は軟式）

※ 実技検査に必要な服装、用具、靴（体育館シューズ及び各自選択課題に必要な靴）を持参のこと。

○ 芸術・表現行動学科「音楽表現コース」志望者に次の検査を行う。

1 必須課題

- ア. 聴音 : 1～4声部  
イ. 新曲視唱 : 旋律のみ  
ウ. 歌唱 : イタリア古典歌曲（原語）より1曲自由選択し、暗譜で演奏すること。  
なお、歌唱は伴奏用楽譜を必要とするので、受験者は必ず楽譜に氏名を明記して出願書類と一緒に送ること。（返却しない）  
エ. ピアノ : J. S. バッハ作曲の鍵盤音楽（3分以内）より1曲を自由選択し、暗譜で演奏すること。

2 選択課題

次のア、イ、ウのいずれか一つを選択すること。

ア. 声楽演奏

下記のいずれかを選択し、暗譜で演奏すること。

- ① 日本歌曲  
② アリア（原語・原調）又は外国歌曲（原語）

なお、声楽演奏は伴奏用楽譜を必要とするので、受験者は必ず楽譜に氏名を明記して出願書類と一緒に送ること。（返却しない）

イ. ピアノ演奏

下記のいずれかを選択し、暗譜で演奏すること。

- ① ベートーヴェンのピアノソナタから一つの楽章を自由選択（ただし、緩徐楽章を除く）  
② ショパンのピアノ練習曲集（作品10, 作品25）から2曲を自由選択

ウ. 声又は任意の楽器による演奏

音楽様式は問わない（邦楽器、洋楽器など）。

演奏に関する質疑応答を行う。楽譜使用可。演奏は受験者本人のみに限る。

## 6 入学者の選抜方法

### (1) 入学者の選抜

入学者の選抜は、本学が課す大学入試センター試験、個別学力検査、面接、小論文、実技検査、調査書及び健康診断書を総合して合格者を判定する。

### (2) 選抜方式

本学の一般選抜の個別学力検査等は、分離・分割方式とし、【前期日程】と【後期日程】に分けて実施する。

ただし、文教育学部芸術・表現行動学科「舞踊教育学コース」では、【前期日程】のみで実施する。

### (3) 2段階選抜

入学志願者が募集人員を大幅に上回り、本学の個別学力検査等を適切に実施することが困難な場合は、第1段階選抜を行い、その合格者に対して本学の個別学力検査等を行う。

#### ① 第1段階の選抜方法

本学各学部の定める「大学入試センター試験で受験を要する教科等」の各教科・科目の得点（本学が定める配点9～10ページに記載）を主とし募集人員の約6倍（ただし、理学部数学科【後期日程】では、約10倍）を第1段階選抜の合格者とする。

#### ② 2段階選抜を実施しない学部・学科

理 学 部	物理学科	【後期日程】
	化学科	〃
	生物学科	〃
	情報科学科	〃

#### ③ 第1段階選抜の実施の有無及び実施の結果について

第1段階選抜の実施の有無及び実施した場合の選抜の結果は、平成12年2月10日（木）の正午頃、学内本部棟前掲示板に掲示する。

実施しない場合 志願者全員に「受験票」と「受験者心得」を郵送する。

実施した場合 合格者には「受験票」と「受験者心得」を、合格とならなかった者には「選抜結果通知書」及び「検定料返還金請求書」用紙を郵送する。

なお、【前期日程】では、2月16日（水）、【後期日程】では、2月29日（火）を過ぎても到着しないときは、入学主幹室入学試験係へ問い合わせること。

### (4) 個別学力検査等の受験について

受験の際は、「お茶の水女子大学受験票」及び「大学入試センター試験受験票」を必ず持参すること。

なお、「大学入試センター試験受験票」は入学手続きの際にも必要となるので、受験後も紛失しないように保管しておくこと。

## 7 合格発表

### 【前期日程】

3月10日（金）正午 学内本部棟前掲示板に「受験番号」を発表する。

### 【後期日程】

3月22日（水）正午 学内本部棟前掲示板に「受験番号」を発表する。

〔注〕電話等による可否の問い合わせには一切応じない。

合格者には、発表当日、あて名票（出願書類10）の住所に合格通知書を郵送する。

#### ※ 電子郵便による「合格者受験番号表」について

電子郵便の内容は、志願した学部ごとに合格者全員の受験番号が記載されている。従ってこれに自分の受験番号が載っていない場合は不合格である。

出願書類を郵送する際、本学所定の用紙に必要事項記入のうえ580円切手を貼付して提出すること。（電子郵便のあて先は、必ず本人が受け取ることでできるところとし、提出後のあて先の変更はできない。）

合格発表から入学手続締切りまでの期間が短いため、合格発表当日、確認に来ることができない者は、できるだけ送付を希望することが望ましい。

電子郵便は、合格発表日に到着する予定であるが、万一、未着の場合は小石川郵便局〔TEL (03)3815-7155・7156〕へ直接問い合わせること。

この「合格者受験番号表」の不着及び遅配を理由とした入学手続期間経過後の手続は一切認めない。

〔注〕上記の電子郵便以外の可否電報等は、本学とは一切関係なく、大学は責任を持ってないので注意すること。

## 8 入学手続等

### (1) 入学手続日

学 部	日程	手 続 日	手 続 時 間	手 続 場 所
文教育学部 理 学 部 生活科学部	前期 日程	3月14日(火) 3月15日(水)	10:00~12:00、13:00~16:00	文教育学部一号館 第一会議室
	後期 日程	3月26日(日) 3月27日(月)		

〔注〕所定の期日までに手続きをしない者は、入学を辞退したものと取り扱う。

### (2) 留意事項

本学に入学手続を完了した後にこれを取り消して他の国公立大学に入学手続をすることはできない。

### (3) 手続事項

提示書類	平成12年度本学の受験票及び平成12年度大学入試センター試験受験票
入 学 料	277,000円

授 業 料	<p>前期分 239,400円〔年額478,800円〕</p> <p>〔注1〕前期分の授業料を上記手続期間中に納入しないときは、4月3日から4月28日までの間に納入することになる。</p> <p>〔注2〕入学手続終了者が3月31日までに入学を辞退した場合には、納付した者の申出により当該授業料相当額を返還する。</p> <p>〔注3〕授業料の納付については、希望により前期分の納付の際に後期分も合わせて納付することができる。</p> <p>〔注4〕在学中に授業料改定が行われた場合に、改定時から新授業料が適用されるので留意すること。</p>
-------	--

## 9 追加合格の通知

- (1) 入学手続締切期日後、募集人員に欠員が生じた場合には、3月28日以降に合格者の追加を行う。
- (2) 追加合格者への通知は、電話で行うので、本学からの連絡が確実に受けられるようにしておくこと。
- (3) 入学手続等については、この要項「8 入学手続等」に準ずるが、手続期日等については追加合格の通知（電話）を行う際に連絡する。  
 なお、合格者の追加を行うか否かについての問い合わせは、テレホンサービスを利用すること。

## 10 募集要項（追加）の請求方法

減員計画による募集要項（追加）は、平成12年度政府予算案の決定後（平成12年1月頃）に発表する。

〔交付場所〕〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号

お茶の水女子大学 入学主幹室入学試験係 TEL (03) 5978-5151~2

〔郵送による請求方法〕

郵送を希望する者は80円切手を貼った返信用封筒（定型内）にあて名を明記したものを同封の上、封筒の表に「募集要項（追加）請求」と朱書きして請求すること。

## 11 問い合わせ先

〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号

お茶の水女子大学 入学主幹室入学試験係 TEL (03) 5978-5151~2

問い合わせの場合は返信用封筒（切手貼付）を同封し、返信先を明記すること。

## 12 テレホンサービスについて

- 募集要項（追加）請求方法等  
平成12年1月4日（火）～1月24日（月）
- 出願状況（各学部の学科別志願倍率等）  
平成12年1月25日（火）～2月9日（水）
- 第1段階選抜の実施の有無  
平成12年2月10日（木）正午頃
- 追加合格の実施の有無  
平成12年3月27日（月）19時以降

電話番号	(03) 3946-5109
------	----------------

**○平成12年度お茶の水女子大学私費外国人留学生  
(学部留学生) 特別選抜学生募集要項**

**1 募集学部・学科・人員**

学 部	学 科
文 教 育 学 部	人文科学科、言語文化学科、人間社会科学科、芸術・表現行動学科
理 学 部	数学科、物理学科、化学科、生物学科、情報科学科
生活科学部	生活環境学科、人間生活学科

募集人員は、各学科とも若干名

**2 出願資格**

次の(1)及び(2)の両方に該当する日本国籍を有しない女子で、出入国管理及び難民認定法の定めるところにより、在留資格「留学」又は「留学」に変更できる在留資格を有する者及び取得できる見込みの者。

(1) 次の①、②、③、④のいずれかに該当する者

- ① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び平成12年(2000年)3月31日までに修了見込みの者、又はこれらに準ずる者で文部大臣の指定した者
- ② スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者で、平成12年(2000年)3月31日までに満18歳に達する者
- ③ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者で、平成12年(2000年)3月31日までに満18歳に達する者
- ④ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者で、平成12年(2000年)3月31日までに満18歳に達する者

(2) 平成12年度私費外国人留学生統一試験及び平成11年度日本語能力試験(1級)を受験した者  
なお、日本において高等学校を卒業又は同等以上の資格を得た者は、一般志願者用の募集要項により手続きをすること。

**3 出願手続**

(1) 出願方法

入学志願者(代理人でも差し支えない。)は、出願期間内に下記(3)の出願書類等を持参のうえ提出すること。(郵送による出願は認めない。)

(2) 出 願 先

東京都文京区大塚2丁目1番1号 お茶の水女子大学 学務課留学生係  
 ( 地下鉄丸ノ内線 茗荷谷駅下車 徒歩5分 )  
 ( 地下鉄有楽町線 護国寺駅下車 徒歩5分 )

(3) 出願書類等

- ア. 出願カード(志願者名票・写真票・受験票) ----- 本学所定の用紙を用い、「出願カード記入上の注意」(7ページ)を参照し、記入すること。写真を貼付のこと。
- イ. 最終出身校の成績証明書、卒業証明書及び関係教官の推薦書(日本語訳をつけること。)バカロレア資格・アビトゥア資格により出願をする者はその証書を持参すること。
- ウ. 日本語による自筆の作文(1,000字以内で、留学の目的、専攻分野の内容、将来の計画等について。)
- エ. 平成12年度私費外国人留学生統一試験及び平成11年度日本語能力試験(1級)の受験票の写し
- オ. 健康診断書(本学所定の用紙を用い、出願3か月以内に作成したもの)
- カ. 出願時に日本国内に在住している者 ----- 外国人登録済証明書(在留資格・在留期間明記のもの)  
出願時に日本国外に在住している者 ----- 戸籍謄本又は出生証明書等
- キ. あて名票(合格通知その他に使用するので、本学所定の用紙に志願者名票の「日本国内の連絡先」の住所、氏名及び郵便番号を明記すること。郵便切手は貼付しないでよい。)
- ク. 検定料 17,000円
- ケ. 検定料納付書 ----- 本学所定の「原符・領収証書」に必要事項を記入すること。
- コ. 受験票返送用封筒(本学所定の封筒に350円切手を貼付し、志願者名票の「日本国内の連絡先」の住所、氏名及び郵便番号を明記すること。)

4 出願期間

平成11年(1999年)12月13日(月)～12月20日(月)(ただし、土、日曜日を除く。)  
 [受付時間] 9時～11時30分、13時～15時

5 私費外国人留学生統一試験で受験を要する科目等

学部	学科	受験を要する科目	受験を要する科目数
文教育学部	言語文化学科	文科系	全科目
	人文科学科 人間社会科学科 芸術・表現行動学科	文科系又は理科系のいずれかを選択	全科目
理学部	全学科	理科系	全科目
生活科学部	生活環境学科	理科系	全科目
	人間生活学科	文科系又は理科系のいずれかを選択	全科目

6 受験票の送付

- (1) 「お茶の水女子大学受験票」は、「受験者心得」とともに、平成12年(2000年)2月10日(木)頃発送する。なお、2月16日(水)を過ぎても到着しないときは、学務課留学生係へ問い合わせること。
- (2) 受験の際は、「お茶の水女子大学受験票」を必ず持参すること。

7 入学者の選抜方法

- (1) 志願者全員に本学の入学試験を課し、その結果と日本語能力試験(1級)成績、私費外国人留学生統一試験成績、最終出身校の成績証明書、健康診断書等により、総合して合格者を判定する。

8 本学の入学試験

- (1) 期日 平成12年(2000年)2月25日(金)、26日(土)
- (2) 試験場 お茶の水女子大学(東京都文京区大塚2丁目1番1号)
- (3) 学力検査

志願する学部・学科		学力検査科目
文 教 育 学 部	人文科学科	日本語 外国語(英語I・II・リーディング、ドイツ語、フランス語から1か国語選択)
	言語文化学科	日本語 外国語(英語I・II・リーディング、ドイツ語、フランス語から1か国語選択)
	人間社会科学科	日本語 外国語(英語I・II・リーディング、ドイツ語、フランス語から1か国語選択)
	芸術・表現行動 学科	日本語 外国語(英語I・II・リーディング、ドイツ語、フランス語から1か国語選択) ※ 上記学力検査のほかに、実技検査を行う。

志願する学部・学科		学 力 検 査 科 目
理 学 部	数 学 科	数学共通（数Ⅰ・数Ⅱ・数A*・数B*） 数 学（数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A*・数B*・数C*） 日本語 外国語（英語Ⅰ・Ⅱ・リーディング、ドイツ語、フランス語から1か国語選択）
	物 理 学 科	数学共通（数Ⅰ・数Ⅱ・数A*・数B*） 数学・理科（「物理」と「数Ⅲ・数C*、化学、生物から1科目選択」） 日本語 外国語（英語Ⅰ・Ⅱ・リーディング、ドイツ語、フランス語から1か国語選択）
	化 学 科	数学共通（数Ⅰ・数Ⅱ・数A*・数B*） 理 科（「化学」と「物理、生物から1科目選択」） 日本語 外国語（英語Ⅰ・Ⅱ・リーディング、ドイツ語、フランス語から1か国語選択）
	生 物 学 科	数学共通（数Ⅰ・数Ⅱ・数A*・数B*） 理 科（「生物」と「物理、化学から1科目選択」） 日本語 外国語（英語Ⅰ・Ⅱ・リーディング、ドイツ語、フランス語から1か国語選択）
	情 報 学 科	数学共通（数Ⅰ・数Ⅱ・数A*・数B*） 数 学（数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A*・数B*・数C*） 数学・理科（数Ⅲ・数C*、物理、化学、生物から2科目選択） 日本語 外国語（英語Ⅰ・Ⅱ・リーディング、ドイツ語、フランス語から1か国語選択）
生 活 科 学 部	生 活 環 境 学 科	数 学（数Ⅰ・数Ⅱ・数A*・数B*） 日本語 外国語（英語Ⅰ・Ⅱ・リーディング、ドイツ語、フランス語から1か国語選択）
	人 間 生 活 学 科	日本語 外国語（英語Ⅰ・Ⅱ・リーディング、ドイツ語、フランス語から1か国語選択）

- 数A\* （数と式、数列）  
 数B\* （ベクトル、複素数と複素数平面）  
 数C\* （行列と線形計算、いろいろな曲線）

（注）学力検査科目欄の外国語（英語、ドイツ語、フランス語）は、母国語を選択することはできない。



#### (4) 実技検査

○ 芸術・表現行動学科「舞踊教育学コース」志望者に次の検査を行う。

##### 1, 必須課題

ア. 舞踊・スポーツに必要な身体支配能力をみるための基礎運動

イ. 面接

##### 2, 選択課題（下記のア、イのいずれかを選択すること）

ア. 舞踊（下記の①と②を行う。）

① 既成作品：モダンダンス、バレエ、日本舞踊、民族舞踊やマイム、新体操などの表現領域から作品を自由選択し、1分以内に演じる。自作・他作どちらでも可。使用する音楽（カセットテープに録音のこと）を持参のこと。

② 創作：課題は当日提示する。

イ. スポーツ（下記の①から③の全種目を行う。）

① バレーボール

② バスケットボール

③ テニス（硬式又は軟式）

※ 実技検査に必要な服装、用具、靴（体育館シューズ及び各自選択課題に必要な靴）を持参のこと。

○ 芸術・表現行動学科「音楽表現コース」志望者に次の検査を行う。

##### 1, 必須課題

ア. 聴音 : 1～2声部

イ. 新曲視唱 : 旋律のみ

ウ. 歌唱 : イタリア古典歌曲（原語）より1曲自由選択し、暗譜で演奏すること。

なお、歌唱は伴奏用楽譜を必要とするので、受験者は必ず楽譜に氏名を明記して出願書類と一緒に送ること。（返却しない）

エ. ピアノ : J. S. バッハ作曲の鍵盤音楽（3分以内）より1曲を自由選択し、暗譜で演奏すること。

##### 2, 選択課題

次のア、イ、ウのいずれか一つを選択すること。

ア. 声楽演奏

下記のいずれかを選択し、暗譜で演奏すること。

① 日本歌曲

② アリア（原語・原調）または外国歌曲（原語）

なお、声楽演奏は伴奏用楽譜を必要とするので、受験者は必ず楽譜に氏名を明記して出願書類と一緒に送ること。（返却しない）

イ. ピアノ演奏

下記のいずれかを選択し、暗譜で演奏すること。

① ベートーヴェンのピアノソナタから一つの楽章を自由選択（ただし、緩徐楽章を除く）

② ショパンのピアノ練習曲集（作品10, 作品25）から2曲を自由選択

ウ. 声又は任意の楽器による演奏

音楽様式は問わない（邦楽器、洋楽器など）。

演奏に関する質疑応答を行う。楽譜使用可。演奏は受験者本人のみに限る。

#### (5) 口述試験

各学部とも口述試験を行う。

(6) 入学試験日時割

		2月25日(金)		2月26日(土)			
文 教 育 学 部	人 文 学 科 言 語 文 化 学 科 人 間 社 会 学 科	実技検査 10:00 ~		日本語 10:00 11:40	外国語 13:10 14:50	口述試験 15:20 ~	実技検査
	芸 術 ・ 表 現 行 動 学 科 舞 踊 教 育 学 コース						
	音 楽 表 現 コース						
理 学 部	数 学 科	数 学 共 通 10:00 ~ 11:40	数 学 13:10 ~ 15:10	10:00 11:40	13:10 14:50	15:20 ~	
	物 理 学 科		物 理 ・ 選 択 ( 数 Ⅲ ・ 数 C 、 化 学 、 生 物 ) 13:10 ~ 16:10				
	化 学 科		化 学 ・ 選 択 ( 物 理 、 生 物 ) 13:10 ~ 16:10				
	生 物 学 科		生 物 ・ 選 択 ( 物 理 、 化 学 ) 13:10 ~ 16:10				
	情 報 学 科		数 学 ・ 選 択 ( 数 Ⅲ ・ 数 C 、 物 理 、 化 学 、 生 物 ) 13:10 ~ 16:10				
生 活 科 学 部	生 活 環 境 学 科	数 学 10:00 ~ 11:40					
	人 間 生 活 学 科						

※ 受験上の注意等については、受験票送付の際に同封する。

## 9 合格発表

平成12年(2000年)3月10日(金)正午 学内本部棟前掲示板に発表する。

合格者には、発表当日、「日本国内の連絡先」あてに合格通知書を郵送する。

## 10 入学手続等

### (1) 入学手続日

学 部	手 続 日	手 続 時 間	手 続 場 所
全 学 部	3月14日(火)	10:00~12:00, 13:00~16:00	文教育学部1号館1階第一会議室
	3月15日(水)	〃	〃
	3月26日(日)	〃	〃
	3月27日(月)	〃	〃

(注) 上記「手続日」欄に示したいずれかの日時に、入学手続を行うこと。

所定の期日までに手続をしない者は、入学を辞退した者として取り扱う。

### (2) 手続事項

提出書類	お茶の水女子大学受験票
入 学 料	277,000円
授 業 料	前期分 239,400円〔年額 478,800円〕 (注1) 前期分の授業料を上記手続期間中に納入しないときは、4月3日から4月28日までの間に納入することになる。 (注2) 入学手続終了者が3月31日までに入学を辞退した場合には、納付した者の申出により当該授業料相当額を返還する。 (注3) 授業料の納付については、希望により前期分の納付の際に後期分も合わせて納付することができる。 (注4) 在学中に授業料改定が行われた場合に、改定時から新授業料が適用されるので留意すること。

## 11 注意事項

- (1) 提出書類に不備不足等がある場合は受理しない。また、いったん受理した書類は返却しない。
- (2) 既納の検定料は、いかなる理由があっても返還しない。
- (3) 可否に関しての電話による問い合わせには応じない。

## 12 受験に関する問い合わせ先

お茶の水女子大学 学務課留学生係  
〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号  
☎ 03-5978-5143

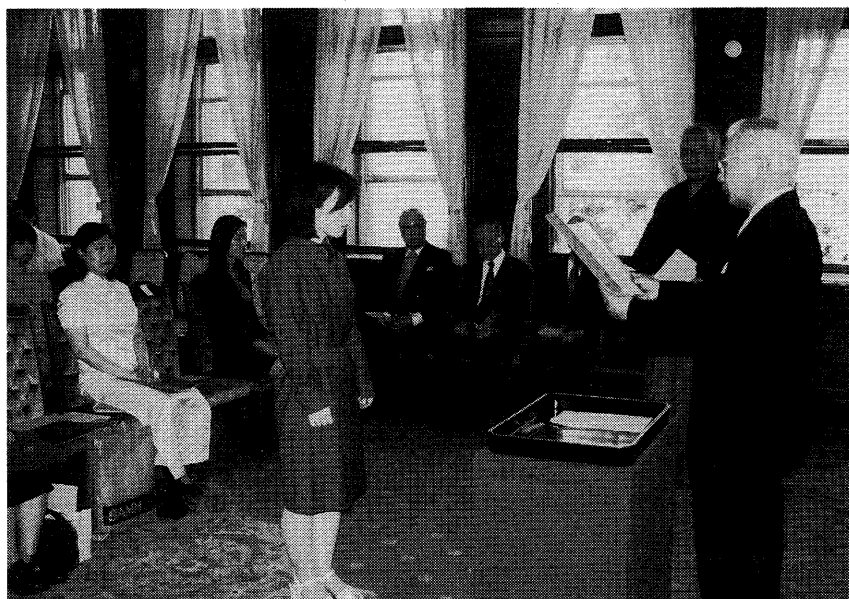
## ○平成11年9月卒業式及び学位記授与式

### ・卒業生数（7名）

文教育学部	4名
理学部	2名
生活科学部	1名

### ・修了者数（12名）

修士課程	人文科学研究科	2名
博士前期課程	人間文化研究科	6名
博士後期課程	人間文化研究科	4名



## ○学位授与

(課程修了によるもの)

学位授与日：平成11年9月30日

授与番号	博士の専攻分野の名称	氏名	本籍	博士論文名
甲第134号	博士(人文科学)	伊藤 亜紀	千葉県	14-16世紀イタリア服飾の色彩研究
甲第135号	博士(人文科学)	相良 順子	佐賀県	性役割に関する態度の形成と発達
甲第136号	博士(理学)	黒川 知美	愛知県	Scaling analyses of Galaxy distribution (銀河分布のスケリング解析)
甲第137号	博士(理学)	清田 順子	東京都	半導体デバイスの数値シミュレーションに関する研究

(論文提出によるもの)

学位授与日：平成11年9月30日

授与番号	博士の専攻分野の名称	氏名	本籍	博士論文名
乙第109号	博士(学術)	八幡 彩子	熊本県	明治初期における翻訳家政書の研究
乙第110号	博士(学術)	三宅 裕子	神奈川県	核磁気共鳴法による食用油脂分析に関する研究
乙第111号	博士(人文科学)	浅倉 有子	青森県	北方史と近世社会
乙第112号	博士(学術)	志村 哲	東京都	古管尺八とその音楽観に関する研究
乙第113号	博士(学術)	寺沢 なお子	長野県	食品の褐変反応生成物の生化学的解析

# 諸 報

## ○研 修

名 称	実施日時	対 象 者	修 了 者	主 催
第50回文部省会計事務振興研修	平成11年9月20日 ～ 10月8日	現在会計事務に従事し、かつ、1年以上会計事務の経験を有する者又はそれに相当する者で、原則として年齢25歳以上30歳以下の者	会計課・用度係 渡邊 暢宏	文部省
第7回人事院式ミドルエイジ職員プログラム（JANP）指導者養成研修	平成11年10月4日 ～ 10月7日	受講後、JANPの指導に当たることが予定されている40歳以上の経験豊富な職員	会計課・専門職員 藤城 健三	人事院
平成11年度関東甲信越地区国立学校事務情報化担当職員研修（パソコン指導者養成コース）	平成11年10月12日 ～ 10月15日	国立学校の情報担当専門の職員で、パソコン操作・管理の中核的立場にある者	会計課・給与係給与主任 羽根 ひろの	文部省及び千葉大学
平成11年度国立学校等課長補佐級研修	平成11年10月12日 ～ 10月15日	平成11年度の本研修後に新たに国立学校等の課長補佐、室長補佐、事務長補佐及び専門員（職階1定数上の専門員をいう。）に就任した者で、原則として年齢50歳以下の者	会計課・課長補佐 峯村 薫	文部省及び 東京大学

名 称	実施日時	対 象 者	修 了 者	主 催
平成11年度関東・甲信越地区国立学校等係長研修	平成11年10月18日 ～ 10月21日	① 係長又は係長相当の職にある者 ② 年齢50歳以下の者 ③ 勤務成績が優秀な者	会計課・司計係長 村上 恭二 入学主幹付入学試験係長 吉原 道隆 附属図書館・情報サービス係長 田村まり子	文部省及び 東京水産大学 ・お茶の水女子大学
平成11年度国立大学事務長研修	平成11年10月25日 ～ 10月27日	平成11年度の本研修後に新たに国立大学の事務長に就任した者で、原則として年齢56歳以下の者	生活科学部事務長 西村 光範	文部省

## ○平成11年度関東・甲信越地区国立学校等係長研修を開催

平成11年度関東・甲信越地区国立学校等係長研修が文部省及び東京水産大学・お茶の水女子大学の運営により10月18日（月）から21日（木）までの4日間にわたり国立オリンピック記念青少年総合センターを会場に実施された。

この研修は、関東・甲信越地区国立学校等の係長及び係長相当の職にある者に対して、その職務遂行に必要な基礎的、一般的知識を習得させるとともに、係長としての能力及び識見を確立させ、国立学校等の管理運営の重要な担い手としての職員の資質向上を図ることを目的とするものである。

第37回となる今回のこの研修には、関東・甲信越地区国立学校等の係長及び係長相当の職にある者108名が参加し、橋本事務局長の「講話」をはじめ、文部省大臣官房人事課審査班矢崎審査第二係長、文部省高等教育局学生課関専門官、文部省大臣官房人事課審査班松本主査らによる、これからの国立学校等を取り巻く重要なテーマについての講義、原ジェンダー研究センター長による「大学教育とジェンダー」の講義、五十嵐教授による「健康と食生活」の講義、東京水産大学戸田助手による「水中ロボットの世界」の講義、また、外部講師による「職場内のコミュニケーション」の講義を意欲あふれる態度で聞き入った。班別討議・全体討議では、与えられた事例研究、課題研究について熱心に取り組むとともに、活発な意見交換を行った。

また、研修初日の国立オリンピック記念青少年総合センター国際交流棟での懇親会及び研修2日目のNHKスタジオパークの見学では、日頃会う機会の少ない他機関の研修生同士の情報交換や交流が活発に行われていた。

閉講式では、橋本事務局長から、研修生108名の代表に修了証書が授与され、今回、受講した研修の成果を今後役に立ててほしい旨の挨拶があった。

### （日程及び講師）

10月18日（月）

「講話」	事務局長	橋本幹夫
「人事実務上の課題」	文部省大臣官房人事課審査第二係長	矢崎雅之

10月19日（火）

「大学教育とジェンダー」	ジェンダー研究センター長	原ひろ子
「大学行政上の諸問題」	文部省高等教育局学生課専門員	関昭裕
「人事行政上の諸問題」	文部省大臣官房人事課審査班主査	松本次好
「施設見学」	（NHKスタジオパーク）	

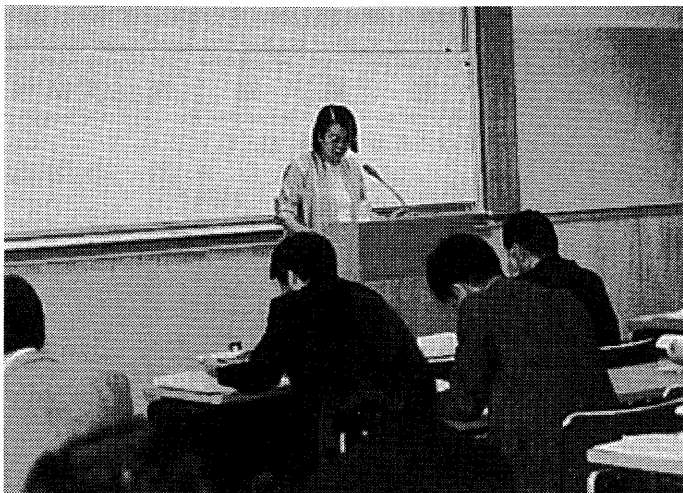
10月20日（水）

「班別討議」	（事例研究）	
「健康と食生活」	生活環境研究センター教授	五十嵐 脩
「班別討議」	（課題研究）	
「職場内のコミュニケーション」	ビジネス・マナー・コンサルティング代表	塚本晃子

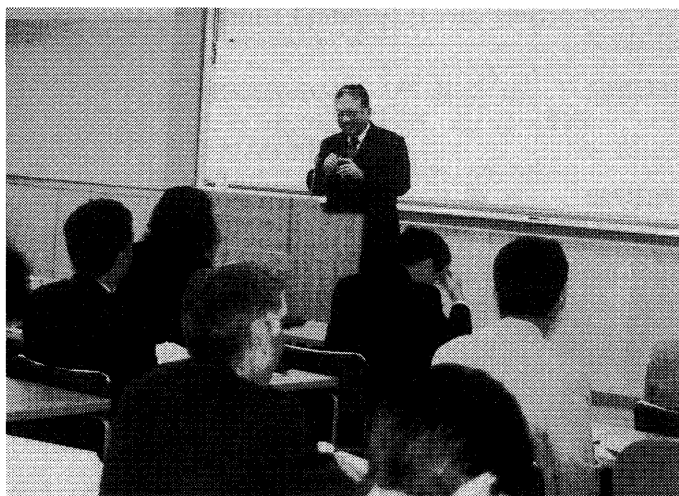
10月21日（木）

「全体討議」	（課題研究及び事例研究の発表）	
「水中ロボットの世界」	東京水産大学水産学部助手	戸田勝善

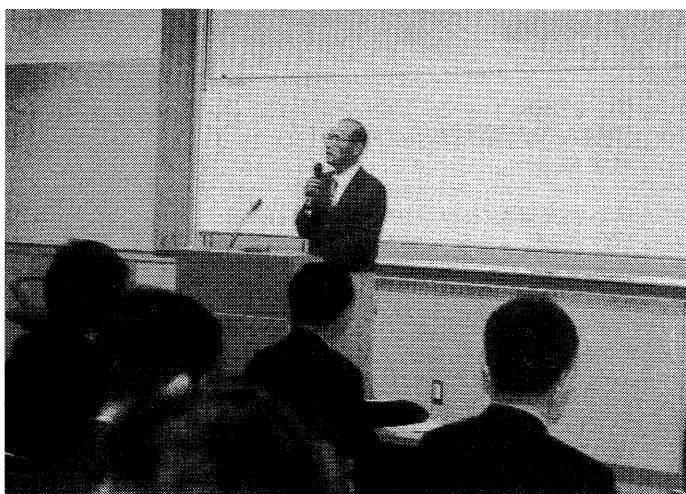




講義を行う原教授



講義を行う五十嵐教授



修了式で挨拶をする橋本事務局長

○海外渡航

所属・職名	氏名	渡航先国	渡航目的	期間	渡航種目
文教育学部 ・教授	内藤俊史	アメリカ合衆国	道徳性発達研究のアメリカでの現状と課題を調査	11. 9. 1～ 12. 4. 30 (帰国予定)	外国出張
理学部・助手	大場清	フランス共和国・ イタリア共和国	「数学と物理におけるクオタニオン構造」第2回研究集会へ参加及びリーマン面のモジュライ空間に関する研究連絡	11. 9. 1～ 11. 9. 11	外国出張
生活科学部 ・教授	駒城素子	ドイツ連邦共和国・ スイス連邦	国際洗浄会議IDCで発表参加及び研究打合せ	11. 9. 4～ 11. 9. 13	外国出張
理学部・助教授	市川哲彦	アメリカ合衆国・ 連合王国	国際会議VLDBに参加及びニューヨーク州立大学で研究	11. 9. 6～ 12. 3. 31 (帰国予定)	海外研修
人間文化研究科 ・助教授	天野知香	フランス共和国・ モロッコ王国・ イタリア共和国・ スペイン	資料収集及び作品周辺調査	11. 9. 6～ 11. 9. 27	海外研修
生活科学部 ・教授	田中辰明	ドイツ連邦共和国	ベルリンDIN協会で開催されるISD/TC163分科委員会作業グループ会議に出席	11. 9. 8～ 11. 9. 19	外国出張
文教育学部 ・教授	平岡公一	チェコ共和国	国際社会学会第19研究委員会年次大会に参加及び研究発表	11. 9. 8～ 11. 9. 14	海外研修
理学部・教授	芦原坦	中華人民共和国	中国農業科学院茶葉研究所におけるセミナー及び中山大学における共同研究	11. 9. 8～ 11. 9. 15	海外研修
文教育学部 ・教授	林廣子	イタリア共和国	声楽研究	11. 9. 10～ 11. 9. 22	海外研修
文教育学部 ・助教授	熊谷圭知	西サモア・ フィジー共和国	国立サモア大学との交流及びポリネシア諸国の開発と社会、文化変容の予備調査	11. 9. 13～ 11. 9. 30	海外研修
人間文化研究科 ・助手	石川百合子	スウェーデン王国	スウェーデンでの酸性雨研究に関する現地調査	11. 9. 21～ 11. 10. 9	外国出張
人間文化研究科 ・助手	伊達敦子	スイス連邦	第16回欧州ショウジョウバエ研究会において成果発表及び研究打合せ	11. 9. 28～ 11. 10. 4	外国出張
理学部・教授	石和貞男	スイス連邦・ ドイツ連邦共和国・ アメリカ合衆国	第16回欧州ショウジョウバエ研究会で発表	11. 9. 28～ 11. 10. 4	海外研修
理学部・助手	塚本るみ	スイス連邦・ ドイツ連邦共和国・ アメリカ合衆国	第16回欧州ショウジョウバエ研究会に参加	11. 9. 28～ 11. 10. 4	海外研修
人間文化研究科 ・助手	佐藤あやの	アメリカ合衆国	Yale大学(New Haven, CT)にて細胞生物学的手法を身につける	11. 10. 1～ 12. 1. 14 (帰国予定)	海外研修

所属・職名	氏名	渡航先国	渡航目的	期間	渡航種目
人間文化研究科 ・教授	畑江敬子	オーストラリア	第10回世界食品科学技術会議に参加及び研究発表	11. 10. 2～ 11. 10. 9	海外研修
理学部・教授	藤代一成	大韓民国	Pacific Graphics'99 国際会議で論文発表	11. 10. 4～ 11. 10. 8	外国出張
人間文化研究科 ・教授	宮原修	フランス共和国	ストラスブールにおける欧州評議会(CE)「今世紀の教育法」第一回会議のオブザーバとして参加	11. 10. 6～ 11. 10. 13	外国出張
生活科学部 ・助教授	松浦秀治	中華人民共和国	国際古人類学シンポジウム-周口店北京原人頭蓋発見70周年記念-に参加、発表及び資料収集、遺跡巡検	11. 10. 11～ 11. 10. 17	海外研修
生活科学部 ・助手	近藤恵	中華人民共和国	国際古人類学シンポジウム-周口店北京原人頭蓋発見70周年記念-に参加、発表及び資料収集、遺跡巡検	11. 10. 11～ 11. 10. 17	海外研修
理学部・教授	福田豊	オーストリア共和国	研究討論及び金属錯体団体の電気化学測定	11. 10. 13～ 11. 10. 20	外国出張
人間文化研究科 ・助教授	出口哲生	アメリカ合衆国	1999年度アメリカ数学会南東部分科会に出席及び招待講演	11. 10. 14～ 11. 10. 22	外国出張
人間文化研究科 ・助教授	大瀧雅寛	台湾	台湾台北市において開催されたアジア・太平洋水環境学会に出席及び研究成果を発表	11. 10. 17～ 11. 10. 22	外国出張
文教育学部 ・助教授	坂本佳鶴恵	フィンランド共和国・オーストリア共和国	博士論文公開審査員及び資料収集	11. 10. 20～ 11. 10. 31	海外研修
文教育学部 ・講師	水村真由美	連合王国	国際ダンス医科学会出席	11. 10. 23～ 11. 10. 29	海外研修
人間文化研究科 ・助手	竹島由里子	アメリカ合衆国	IEEE VISUALIZATION'99 国際会議に出席	11. 10. 23～ 11. 10. 31	海外研修
文教育学部 ・講師	佐々木泰子	シンガポール共和国	シンガポール大学との交流及びデータ収集依頼	11. 10. 24～ 11. 10. 27	外国出張
理学部・教授	藤代一成	アメリカ合衆国	IEEE VISUALIZATION'99 国際会議に出席	11. 10. 26～ 11. 10. 30	外国出張
人間文化研究科 ・教授	天野正子	中華人民共和国	「現代社会と高等教育」をテーマに講演	11. 10. 30～ 11. 11. 10 (帰国予定)	外国出張
理学部・助手	外館良衛	連合王国	中性子散乱実験	11. 10. 31～ 11. 11. 14 (帰国予定)	外国出張

○健康診断

事 項	実 施 日 時	対 象 者	受診者数	実 施 場 所
職員特別定期健康診断	平成11年9月20日(月)	自動車運転手	1人	保健管理センター
遠隔地勤務者健康診断	平成11年10月6日(水)	理学部附属臨床実験所及び自山野外教育施設勤務者。ただし人間ドック受診者を除く。	3人	千葉県安房保健所
職員定期健康診断 (第1回)	平成11年10月12日(火) 13日(水)	全職員。ただし、人間ドックの受診者及び遠隔地勤務者を除く。	213人	保健管理センター

## ○平成11年度お茶の水女子大学総合防災訓練

平成11年度お茶の水女子大学総合防災訓練が、10月28日（木）12時から13時までの間、教職員・学生・生協職員が参加し実施された。

訓練は、正午に震度6程度の大地震発生を想定した全体の避難訓練と各種訓練の2部構成で実施された。

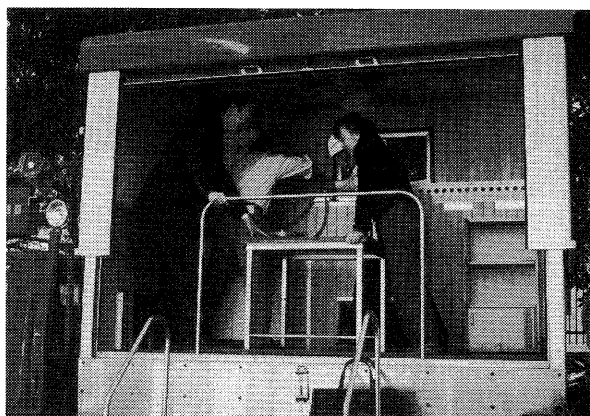
避難訓練は、学長を災害対策本部長とした防災隊の指示・誘導により、各建物から指定避難場所までの避難が実施された。

各種訓練では、起震車による地震体験、煙ハウスによる煙体験、消火器による消火訓練が、それぞれ実施された。

なお、救助袋訓練は強風により中止となった。



災害対策本部長（学長）の講話



起震車による地震体験（震度2-6）



消火器による初期消火訓練

## ○附属学校に「太陽光発電設備」が完成

このほど「太陽光発電設備」が完成し、9月13日（月）15時30分から、火入れ式、並びに設備説明会が行われた。

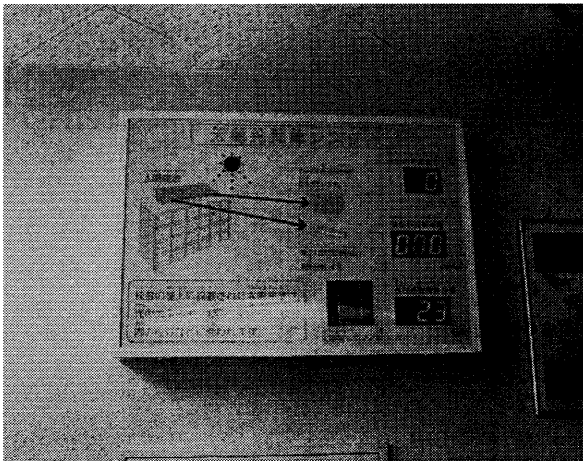
この日は、あい憎の小雨模様の日となったが、石川附属学校部長、藤枝附属高等学校長をはじめ各附属学校の副校長ら関係教官、並びに事務局からは橋本事務局長、関係各課長ら職員が出席した。その他に附属学校の一部の児童生徒が参加した。

最初に、石川附属学校部長の挨拶があり、引き続き、同附属学校部長の入力による火入れ式が挙行され、無事に終了した。この後、鈴木施設課長による当該設備の概要についての説明が行われた。

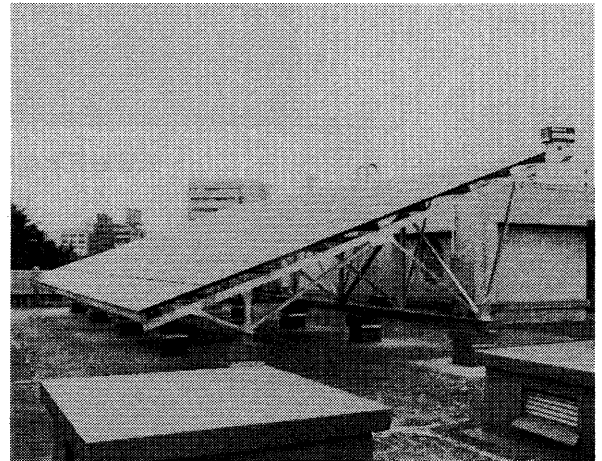
この太陽光発電設備は、附属幼稚園から附属高等学校までの4附属学校の各校舎にそれぞれ太陽光発電表示器と太陽電池パネルが設置されており、附属学校全体の年間電気使用量の数パーセント程度の電力量を供給できる能力を有する。

これから、エネルギー問題や環境教育などのための生きた教材としての活用が、大いに期待される。

「太陽光発電表示器」



「太陽電池パネル」



## ○レクリエーション行事

### プロ野球観戦（日本ハム対西武）

去る、9月10日（金）に東京ドームにおいて、プロ野球観戦が行われました。  
このレクリエーション行事には、30名が参加し、日本ハム対西武戦を観戦しました。

### 『職員ボウリング大会』

去る、9月17日（金）に、池袋ブランズウィック・スポーツガーデンにおいて、平成11年度職員レクリエーション「職員ボウリング大会」が行われました。

本大会は、毎年開催されているもので、今回は、15チーム43名の参加があり、橋本事務局長の始球式に始まり、熱戦が繰りひろげられました。

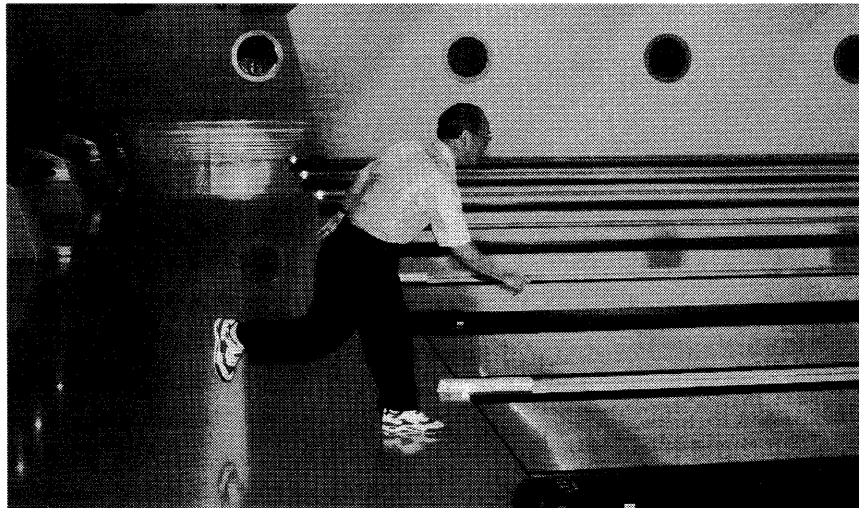
なお、成績は、下記のとおりです。

（団体）

優勝 ザーマミロズ チーム  
青木真紀子、柴田正造、丸山彰英  
準優勝 エック チーム  
大橋悦子、下田勝、村上恭二  
第3位 チームヤエ チーム  
鈴木孝、八重樫博、涌井豊子

（個人）

優勝  
（男子） 八重樫博  
（女子） 芳村紀子



（始球式を行う橋本事務局長）

### 『演劇「忠臣蔵」鑑賞』

去る、10月9日（土）・17（日）・23（土）に明治座において、演劇鑑賞が行われました。

このレクリエーション行事には、30名が参加し、明治座10月公演の演劇『忠臣蔵』を鑑賞しました。

# 日 誌

- |   |   |
|---|---|
| <p>9月1日(水) 発明委員会<br/>人間文化研究科博士前期課程入試<br/>(～2日)<br/>外国人留学生実地見学旅行(～3日)<br/>附属高等学校・中学校・小学校 2<br/>学期始業式</p> <p>3日(金) FD推進ワーキンググループ<br/>教育課程評価改善小委員会</p> <p>6日(月) 課長会議<br/>運営協議</p> <p>7日(火) 自己点検・評価検討委員会<br/>部局長会議<br/>主任会議</p> <p>8日(水) 日本語・日本文化研修留学生修了式<br/>教授会<br/>今後のお茶の水女子大学のあり方に<br/>関する検討会<br/>附属幼稚園 2学期始業式</p> <p>9日(木) 代議員会<br/>インターンシップ導入のための研究<br/>会</p> <p>10日(金) 生活環境研究センター運営委員会<br/>自衛消防隊訓練審査会(於:小石川<br/>消防署)<br/>国立学校等経理部課長会議(於:東京<br/>医科歯科大学)<br/>国立大学協会第3常置委員会作業委<br/>員会(於:国立大学協会)<br/>人間文化研究科博士前期課程入試合<br/>格発表</p> <p>13日(月) 国立大学協会臨時総会(於:学士会<br/>館)<br/>理学部PR委員会<br/>太陽光発電設備火入れ式・説明会</p> <p>14日(火) 夏期休業終<br/>入学者選抜方法研究委員会</p> <p>16日(木) 男女共同参画社会づくりに向けての<br/>全国会議(於:東京厚生年金会館)<br/>国立三大学附属学校部・学校教育部<br/>連絡会議(於:筑波大学)</p> <p>17日(金) 行政財産等の実地監査 関東財務局<br/>(於:東村山郊外園)<br/>職員ボーリング大会</p> <p>18日(土) 公開講座</p> | <p>20日(月) 大学院人間文化研究科博士後期課程<br/>入試(～21日)<br/>国立大学等学長・事務局長会議(於<br/>:オリセン)<br/>国立大学協会臨時会議(於:オリセ<br/>ン)<br/>今後のお茶の水女子大学のあり方に<br/>関する検討会<br/>運営協議<br/>第50回文部省会計事務特別研修(～<br/>10月7日)(於:オリセン)</p> <p>21日(火) 生活環境研究センター運営委員会<br/>部局長会議</p> <p>22日(水) 保井・黒田奨学金候補者選考委員会<br/>評議会</p> <p>23日(木) 秋期休業始</p> <p>25日(土) 公開講座<br/>附属中学校生徒祭(～26日)</p> <p>27日(月) 代議員会</p> <p>28日(火) 平成11年度大学入学広報セミナー<br/>(於:有楽町朝日ホール)<br/>事務連絡協議会<br/>文教育学部入試方法検討委員会<br/>附属小学校 防災訓練</p> <p>29日(水) 奈良女子大学の現状と将来像に関す<br/>る懇談会(於:奈良女子大学)<br/>拡大主任会議(生活)<br/>学生委員会<br/>附属学校教育研究委員会</p> <p>30日(木) 卒業式・学位記授与式<br/>秋期休業終<br/>全国国立大学学生部長協議会(～10<br/>月1日)(於:旭川医科大学)<br/>附属幼稚園 公開保育研究会</p> <p>10月1日(金) 図書館情報大学開学二十周年 創基<br/>八十周年記念式典・記念講演会・祝<br/>賀会(於:図書館情報大学)<br/>附属図書館運営委員会<br/>後学期授業開始<br/>課長会議</p> <p>2日(土) 附属高等学校文化祭(～3日)<br/>公開講座<br/>附属幼稚園 防災訓練</p> <p>4日(月) 東京芸術大学美術館開館記念式典</p> |
|---|---|



(於：東京芸術大学)  
 今後のお茶の水女子大学のあり方に関する検討会  
 第7回人事院式ミドルエイジ職員プログラム指導者養成研修(～7日)  
 (於：国家公務員研修センター)

5日(火) 保井・黒田奨学金候補者選考委員会  
 中長期の就職採用問題研究会(於：東海大学校友会館)  
 教職課程専門委員会

6日(水) 第37回全国大学保健管理研究集会(～7日)(於：北海道厚生年金会館)  
 理学部入学者選抜方法検討委員会  
 平成11年度学生教育研究災害保険等説明会(於：文化女子大学)  
 教育課程評価改善小委員会  
 カリキュラム委員会

7日(木) 池田摩耶子・重記念奨学金審査委員会  
 文教育学部教務関係事項検討委員会  
 第11回国立大学等保健管理施設協議会理事会(於：北海道厚生年金会館)  
 第6回インターンシップ導入のための研究会  
 関東甲信越地区国立大学等施設部課長会議(於：筑波大学)

8日(金) 第11回国立大学等保健管理施設協議会総会(於：小樽グランドホテル)  
 附属学校委員会  
 ジェンダー研究センター運営委員会  
 国際交流委員会  
 運営協議

9日(土) 学生自治会企画・制作「兵士の物語」

10日(日) 幼稚園運動会

12日(火) 防災委員会  
 職員一般定期健康診断(～13日)  
 部局長会議  
 施設計画委員会  
 主任会議  
 平成11年度国立学校等課長補佐研修(～15日)(於：オリセン)  
 平成11年度関東甲信越地区国立学校等事務情報化担当職員研修(パソコン指導者養成コース)(～15日)(於：東京大学検見川セミナーハウス)

13日(水) 文部省共済組合全国事務担当者会議(於：東京医科歯科大学)  
 外国人留学生オリエンテーション  
 就職ガイダンス

教授会

14日(木) 事務組織のあり方に関する検討専門部会  
 教育系大学附属学校部長・事務長協議会(～15日)(於：福岡教育大学)  
 国立大学協会第3常置委員会(於：国立大学協会)

15日(金) 理学部懇話会・懇談会  
 関東甲信越地区国立大学等庶務部課長会議(於：如水会館)  
 生活科学部カリキュラム小委員会

16日(土) 附属中学校 学校説明会

17日(日) 全学停電日

18日(月) 関東甲信越地区国立学校等係長研修(～21日)(於：オリセン)  
 生活科学部カリキュラム小委員会

19日(火) 文教育学部入試方法検討委員会

20日(水) 就職ガイダンス

21日(木) 生活科学部第3年次編入学出願(～27日)  
 東京農工大学創立五十周年記念式典(於：府中の森芸術劇場)  
 国立22大学理学部長会議(於：KKRホテル東京)  
 附属高等学校 防災訓練

22日(金) 文部省研究開発学校指定研究発表会  
 第17回国立大学理学部長会議(於：KKRホテル東京)  
 東京地区厚生補導部課長会議(於：一橋大学)  
 関東甲信越地区国立大学事務局長会議(於：宇都宮グランドホテル)  
 サモア国立大学長表敬訪問

23日(土) 平成11年度女子大学連盟総会(於：神戸女学院大学)

25日(月) 第35回国立16大学学長懇話会(於：東京芸術大学)  
 運営協議  
 平成11年度国立学校事務長研修(～27日)(於：オリセン)  
 事務情報化専門部会

26日(火) 理学部帰国子女特別選抜出願(～11月4日)  
 文教育学部教務関係事項検討委員会  
 部局長会議

27日(水) 代議員会  
 評議会  
 附属学校教育研究委員会

28日(木) 総合防災訓練

理学部カリキュラム委員会  
入学者選抜方法研究委員会  
29日（金）事務連絡協議会  
関東甲信越地区国立大学長会議（於  
：如水会館）  
附属幼稚園 公開保育研究会